大正十三年十一月二十二日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）　昭和五年五月三十一日印刷納本　同五年六月一日發行　第八卷第五號

婦人運動

六月号

第8卷　第5號

職業婦人社

今野賢三著

最新刊

プロレタリア戀愛觀

四六版二五〇頁美裝
定價金八拾錢
送料金六錢

如何に新しく戀愛すべきか？

人生に闘爭力を與へ、歡喜を與ふるもの、戀愛に若くはない。しかも戀愛の觀點・方法・形態は、時代と階級によつて著しく異なる。今や新時代的戀愛の潮流渾沌として、青年男女はその指標を喪失しつゝある際、突として現はれた本書こそは、眞に正しきプロレタリア的立場から、在來のブルジョア的、小市民的戀愛觀を最も急進的に批判し、解說した唯一の劃期的戀愛論だ。性的ノスタルヂヤーにとりての唯一の醫療書はこれだ！

（細田民樹氏曰く）この本の如きは今日及び明日の眞の性關係、性心理、性道德について最も根本的な示唆を含んでゐると思ふ。

（平林たい子氏曰く）日本の社會事情を觀察することによつて書いた本である故に、日本の性問題を最も正しく理解してゐると信じる。

東京市牛込區市ケ谷田町

世界社

電話牛込五八六八・振替東京七五一五八

第八巻第五號

婦人運動（六月號目次）

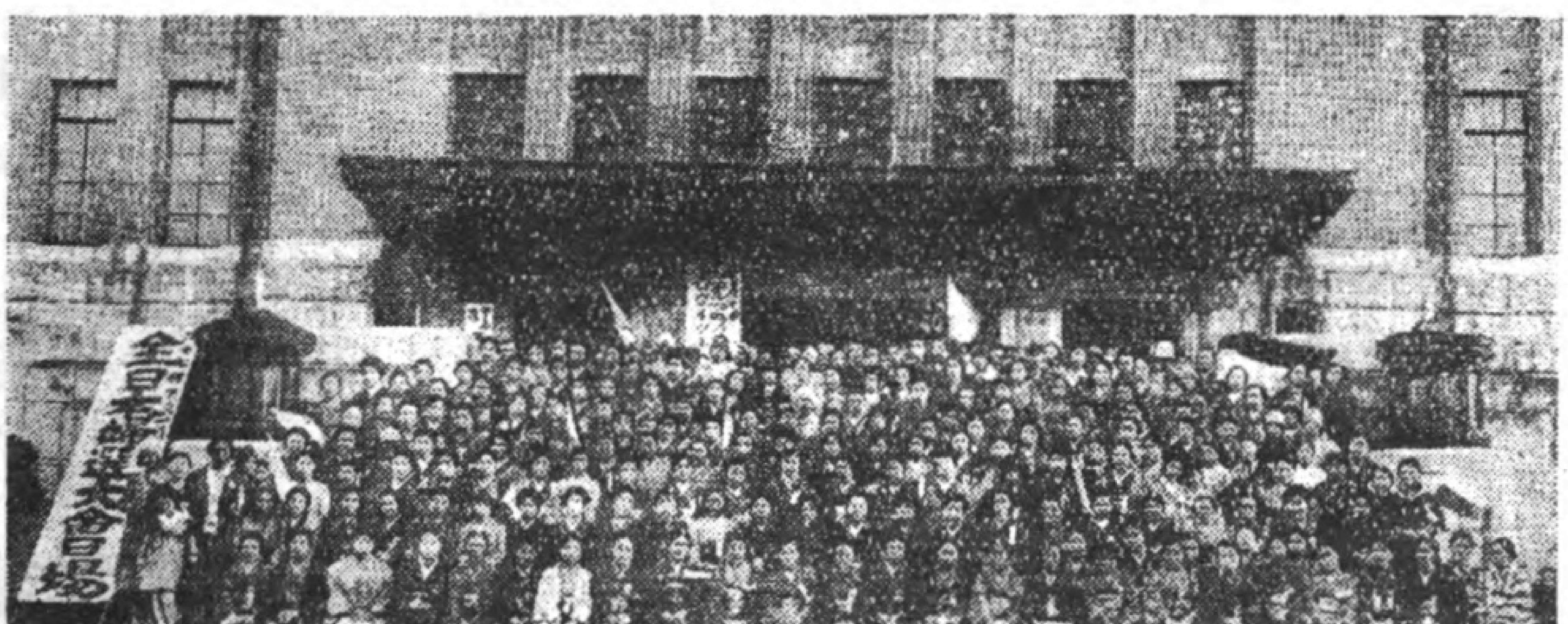
婦人層が反動化の危機に頻してゐる

東京に於けるブルヂョア婦人團體――女學校同窓會、女醫會、女子教育振興會、キリスト教婦人矯風會、その他の有力婦人團體が聯合して、積極的に參政權運動を初めることにしたといふ。報導に依れば、從來の急進的な婦人參政權運動に入りかねてゐた婦人たちを誘ひ合せて溫健派の促進運動を起すのであるといふ。

それ〴〵に立場を異にし、構成分子を異にした多くの婦人團體が、參政權運動といふ一つの當面の問題を中心にして協力することになつた、といふ。これだけならば、如何なる反對勢力があらうと、やがて實現するにちがいないこの參政權を、一日も早く到來させるために、又獲得のあかつきに於てそれの行使方法を誤りなからしめるために、今から起つて積極的に働き出すことにしたといふことは、とりあげぬよりは、教育的效果に於て增しだ、といふ意味で、喜ぶべきであるかもしれない。

然し、こゝに警戒すべき婦人層反動化の魔手が意識的にも無意識的にも働きかけてゐることを見逃してはならぬ。

わが國の知識階級婦人に依つて、參政權運動が團體的に行はれ初めてから五六年を經た。爾來これらの婦選團體はみな政黨色のない白紙主義で來た。何れの政黨にも賴る代りに、何れの政黨にも偏しないことを以て特色として來てゐた。但し、白紙主義は往々



（婦人參政權を要求する大示威）

にして妥協主義となり、意識的にも無意識的にも被支配者としての婦人大衆の利害をよそに、有力な既成政黨に偏つて、これと妥協した取引の内に一日も早く參政權を與へられようとする功利主義に墮した。今日までの參政權運動に對する批難と攻撃は主としてこの定見なき妥協主義に對するものであつたといつてよい。

これらの婦選團體をすらなほ急進的だとして自ら溫健派を名乘るブルヂョア婦人團體が、今後いかなる道に參政權運動を進めようとしてゐるかはいはずと明白な事實であるが、從來、勤儉貯蓄運動、緊縮運動、國産品愛用運動、平和運動等々、つねに御用團體として支配階級の手先に立つて來たそれらの婦人團體の幹部連中が、又、職業婦人としても高級の成功者であり、家庭的にもブルヂョア夫人として閑暇と金子をもつてあましてゐる者が多いのであるから、その環境と生活の故に一層露骨にブルヂョア政黨たる既成政黨の政策に迎合して、社會の大多數を含める無産大衆の生活を蹂躙しても、反動勢力の結成を早めるやうな結果になるであらうことはいふまでもない。

私たちは知るのである。斯うして時代的な推移は、全ての運動を――參政權運動をすら――はつきりした二つの階級に分立させねばやまないものであるといふことを。

「溫健派」婦人團體が參政權に向つて聯合することは、必ずやその他の政治行動に於いても經濟行動に於いても、今後積極的に動き出す機緣となるであらうとは、疑ひを容れない。今日、いはゆる婦人團體に活動してゐる婦人の多くは、この傾向に組するであらう分子であるとみて差支ないのであるが、ほんとうに婦人のおかれてゐる社會的地位を知る者は、自らの手でこの婦人層反動化の危機を喰ひとめなければならぬ。（奥）



（無産者の解放を叫ぶメーデー）

職業婦人に與ふる言葉

青野季吉

職業婦人と云ふ言葉は、近年非常に廣汎な意味に用ゐられて居て、一般的に職業婦人を目標として、お話することは困難である。

今日職業婦人と一般に言はれて居る社會層には、大別して二つの範疇があると思ふ。

第一、中小工業、即ち舊中產階級に於ける職業に從事する婦人。第二、官廳、會社、工場等に於て職業に從事する婦人。

そこで第一の部類に附屬する職業婦人と、第二の部類に附屬する職業婦人とでは、環境も非常に違ひ、與へられたる社會的位置も自ら異り、隨つて自然發生的に、兩者の抱くイデオロギーも非常に相違して居る。

第一の部類の職業婦人は、新しい意味の職業婦人と云はるべきものではなくて、古くから存在して居た職業婦人層である。

古い形態では、夫婦共稼ぎ、小商店主等であつたもので、それが近年、社會經濟的事情に逼られて、比較的獨立の存在形態を取つたものに外ならない。

之に反して、第二の層に屬する職業婦人は、全く新しい形態の職業婦人であつて、一般に資本主義經濟、殊に金融資本主義經濟の發展と共に、發生したところの婦人社會群である。

尤も、與へられたる社會的地位に於ても、兩者に共通の點がない譯ではない。一般に、精神的物質的の婦人的傳統は、兩者共に多分に之を持つて居る。

然しながら、第一の職業婦人に於ては比較的それが、固定的な姿を取つて居るのに反して、第二の職業婦人層に於ては非常に急速なテンポを以て、その要素が消滅しつゝあると考

へられる。

さういふわけで、非常に極端な場合になると、兩者の婦人は、夫々全く別個の社會的存在であるかの如く見える場合がある。

兩層の婦人共に直接眼前に置かれた問題は、何れも第一に物質的生活の問題である、然しその問題が、兩者に於て現れる姿は、非常に違つて居る。

第一の部類に於ては、或意味でその職業婦人が、一個の經濟主體であるから、生活慾と共に、多かれ少なかれ利益慾を持つて居る。然るに第二類の職業婦人の場合には、彼女自身が何等生活主體ではなく、會社なり、銀行なり、工場なりの大きな生活主體に依存して存在して居るのであるから、生活慾は單なる生活慾として現れ、そして何等の利益慾乃至は資本蓄積慾の存在を認めない。が然しその代りに、精神的、物質的の、一種の人間的自由の要求が、必然に伴つて來る。と云ふのは、彼女等が、第一類の婦人の場合とは違つて、自分以外の經濟主體に依存して居るところから、必然に物質上、精神上の、公然、陰然の拘束を受けざるを得ないからである。

そこで、今日の一般に職業婦人層の苦悶は、言ふ迄もなく職業難、延いては生活難に存するのであるが、第一の部類の婦人に在つては、それはより多く、彼女の利益慾滿足の不可能に對する苦悶となつて現れ、第二の場合には、より多く彼女の人間的要求滿足の不可能に對する苦悶となつて現れて居る。そこで非常に極端な場合について見ると、そこから來る第一の婦人の絶望は、經營主體の發展性の絶望、生活の將來に對する絶望の姿となり、或は一家心中、女房狂亂等の悲劇を構成する。

一方第二の婦人のそこから來る絶望は、近代的頽廢の種々樣々なる都會的形態の中に、瞬間的、虛無的な自己滿足に赴くと云ふ結果になり、その最も極端な場合には、近代的犯罪婦人の悲劇を構成するのである。

何れの場合にしても、彼女等が今日の社會經濟の壓迫に依つて、消極的に選んで行く道は、一種の自己破壞の道であることは爭はれない。即ち第一群の婦人層の場合は、直接に生命否定の道であり、第二の婦人層の場合は、間接に荒廢に依つて、自己の生命を、各瞬間を逐つて破壞して行く道である。

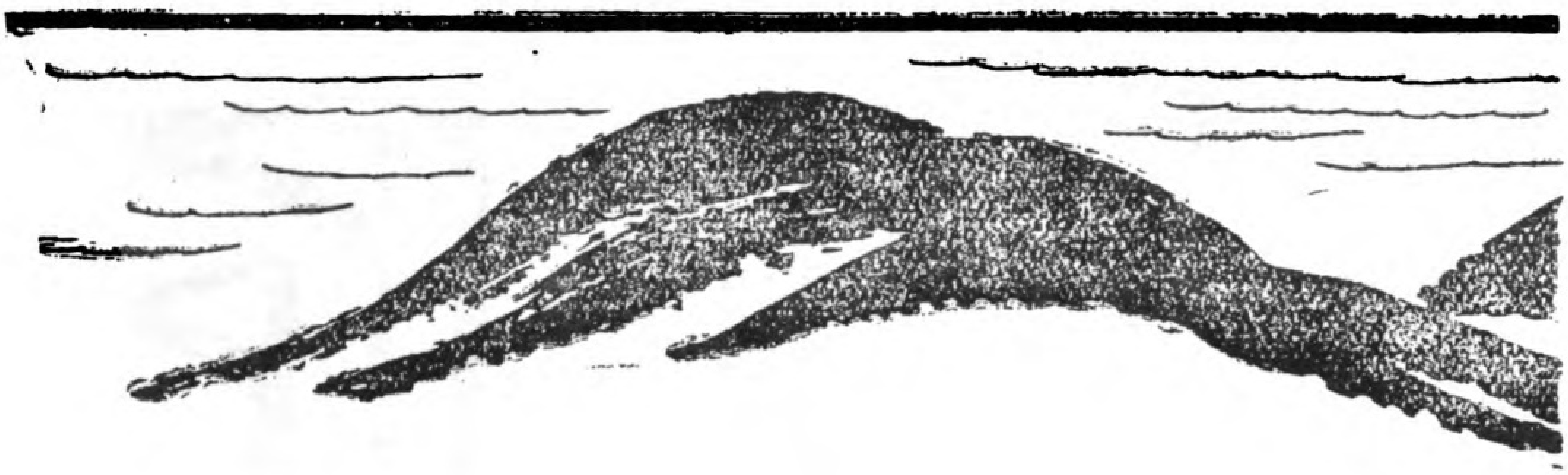
然しそれは一面の觀察であつて、他の一面には、積極的、光明的な方面がある。即ち、さう云ふ社會經濟的壓迫に對し

て、飽くまでも抵抗し、反抗し、鬪爭して行く、先づ第一に自己の生命、それを通して自己の社會層、及びその屬する階級の生命を成長させ、伸展させようとする意識的努力の方面である。第一類の婦人の場合に在つては、その努力は彼女等の政治的、經濟的な權利の要求となつて現れてゐる。

既に數年以前から、主として地方の小都會、及び農村に於て、政治鬪爭、組合鬪爭の大衆的要素としての小市民婦人、小作人婦人等が見出されて居るが、それはその最も顯著な具體的の現れである。第二群の婦人の場合は、その努力は、職業婦人の集團的結合、而してそれを媒介としての待遇上其他の積極的な要求運動となつて現れて居る。尤も今日では其の要求や運動は、非常に顯著な姿をとつて現れて居ると云ふ譯には行かないが、既にその力强い出發は、到る所に發見されて居る。消費組合、勞働組合等に結びついてゐる小數の職業的婦人は、最も先進的な現れに外ならない。

既に實踐に於てさう云ふ積極的な生命への道が示されて居る以上、職業婦人は如何にして生くべきかと云ふ問題は、既に社會的に立派な力强い解答を得て居る問題と云つてよいであらう。言ひ換へれば、舊タイプの職業婦人にしても、新タイプの職業婦人にしても、先づ第一に與へられたる社會的現實を、一種の社會的運命として考へる事をしないで、その現實は自分達の意識的努力によつて變更され、改善され、變革されるものであるといふことを、はつきりと知つて置かなければならぬ。それについては、その變更し、改善し、變革する手段は、決して何等かの抽象的精神的な工夫に依つてゞはなく、社會經濟の現實其物の中にある解決の、物質的基礎を基礎としたものでなければならぬと云ふことを、はつきり把握して置かなければならぬ。即ち第一の婦人層に在つては、一方に彼女等の內部に在る古い障害物、即ち一種の利益獲得慾を清算すると同時に、一個の婦人としての生活權の獲得の爲に政治的、經濟的に鬪爭すると云ふ方法である。第二の婦人層の場合は、飽くまでも自己の生活權を維持する爲に、一般にブルジョアジー、殊に金融ブルジョアジーに向つて、經濟的な、及びそれを通して政治的な鬪爭をすると共に、彼女を圍繞する一切の心理的、道德的、社會的な拘束に向つて鬪爭する道である。

今日は一般に勞農勤勞階級にとつてさうであるが、職業婦人層にとつても、生存恐怖の時代である。失業か、貧窮か、生存其物に對する脅威が一般的な事實となつて居る。かう云ふ場合に職業婦人自身が何等かの欺瞞的な精神的幻影、何等かの欺瞞的の物質的誘惑に依つて、職業婦人としての自己の社會的現實を忘却したならば、其時こそは彼女等に、必然に與へられるものは、失望と、苦悶と、荒廢と、自滅とに外ならないであらう。



近詠五つ六つ

松山しげ子

一切のものなげうちて新しき道(みち)をあゆまむ強く正しく

わが行かむ道はけはしくはるかなりされどゑみつゝ送りませ母

生きて世にゐまさば父もとも〴〵に我が門出(かどで)を祝ひ給はむ

音に出でゝ泣かまくほしと思へども忘れはてにき泣くすべさへも

新緑の森の小路(こうぢ)を久々にあゆめば少し心なごめり

桑の畑やうやく盡きていろづける麥の穗波(ほなみ)の日に光る見ゆ

高嶺(たかね)より高嶺をつたふ雲のかげそをうつしつゝ流れゆく水

經驗の基礎の上に

大山郁夫

去年の三月五日、神田の某旅館で一兇漢の毒手に倒れたなき同志山本宣治君は、舊勞働農民黨の代議士としてブルジョア議會で奮戰した唯一人の鬪士でありましたが、彼は、死の數日前の或る日、私にかういふ意味のことを言ひました。

「やがて治安維持法改正法案が上提されますが、その時こそ私はノドをしめられて聲が出なくなるまで戰ひます。もし私が無事に歸つて來るやうなら、私の演説が失敗に終つたのだと思つて下さい」と。

これは恐らく、今後續々選出されるであらうところの勞農黨の代議士の凡てが議會に臨む際に必ず抱かせられる氣持だと思ひます。私も無論、同志山本宣治と同じ氣持で議會に臨みました。

議會――無論それは、資本家、地主の代表者によつて獨占されてゐる資本家、地主の議會です。私は、議會の演壇に立つてイザこれから私の發言を開始しようとして、先づ議場を眺め渡した時、そこに居ならんでゐる四百六十餘の頭顱の殆んど凡てが、資本家地主の利益擁護の熱意に燃え、私の一擧一動に敵意に充ちた鋭き視線を投げかけてゐるのを感じました。そして私は思はず、全身の力をふりしぼつて、議場を睥睨せざるを得ませんでした。私は開口先づ第一に叫びました。

「私は、全國勞働者、農民、無産市民其他一切の被壓迫民衆の立場から、濱口首相の施政方針演説に對して質問戰を展開しようとしてゐるのであります。此の質問は、勿論、濱口内閣に對して糺彈的意味を含んでゐることは言ふまでもないこ

とであります。』と。
　私は更につゞけました。
『私は今濱口內閣の下に於て闘つてゐるが、曾て田中政友會內閣の時にも——田中反動內閣の下に於ても、血みどろの戰を闘つて來たのであります。それ故に、此の濱口內閣に對する糺彈と云ふものは、一切の資本家、地主とその政府、政黨に對する糺彈を含んで居るのであることを御承知置き願ひたいのであります。』
　この時、この時！　ブルジョア議場の各所から嘲笑が沸き起つたのであります。私は、だが、資本家地主の代辯者共のこの嘲笑を聽いた時、勇氣百倍するのを覺えました。私は議會外にゐて私を支持應援して與れる無數の戰鬪的勞働者農民諸君の力をまざ／＼と感じつゝ、一段と聲をハゲマシテ叫びました。
『諸君は今此の演說に對して非常なる嘲笑を投げ掛けられて居るのでありますが、何時まで諸君が笑つてゐることが出來るか、諸君はやがて諸君が、今この無產階級の聲に對して投げた笑に對して悔恨しなければならない日が來るであらうことを私は、此の壇上から叫ぶのであります。』

　かくして私は、喧噪と彌次と嘲笑とに逆ひつゝ、ブルジョア議會の演壇にガンバツテ、飽くまで勞働者、農民、無產市民の要求を叫びつゞけました。(今こゝでその內容を申し上げてゐる暇をもちませんが、最近春秋社から出たパンフレット『大山郁夫は斯く叫ぶ』の中にその全內容が掲載されてゐますからそれを見て戴きたいと思ひます)。
　私は今度初めてブルジョア議會に這入つて樣々の經驗をしましたが、今この全經驗の基礎の上に立つて、かう叫ぶものであります。
　戰鬪的勞働者農民諸君！　ブルジョア議會は、諸君がそれを外部から想像してゐるのと全く同じものだ。それに資本家地主の政府の專制政治をカムフラージュするための、資本家地主の代辯者共のオシヤベリ場に過ぎないのだ！　諸君は、ブルジョア議會が諸君の利益を擁護して與れるだらうなどゝいふ幻想を少しでも抱いてはならないのだ。無產大衆の利益を擁護伸張し得るものは、たゞ我々自身の團結の威力のみだ。
　さあ、お互ひにガツシリ腕を組んで、工場に、農村に、街頭に、全力を擧げて戰ひ進まう!!

激動の中を行く

奥むめお

この頃の感想

毎日が忙しすぎる、といふことがこの頃の私の苦しみとなつて來た。

私をおひ廻す用事が雜多で、心が四分五裂する。みつめてゐる焦點が始終移つて、まるで走馬燈のやうでないか。こんなことではならぬ、と自分で自分に警戒するのであるが。

曾つて、私は非常に忙しい中を、激しい、灼くやうな執心で仕事に精出してゐた。その頃のことが、なつかしく屢々思ひ出されて來るのだ。

あの頃、夜も晝も朝もない私であつた。まるで、疲れるといふことを知らなかつた。出るにも入るにも子供をおん負してゐたし、片一方には大きい方の子供の手を引いてゐた。うち中の洗濯を自分でした。裁縫もした。炊事も、畑作りもして、書物もその頃一番熱心に餘計讀んだやうに思ふ。勿論貧乏なやりくり世帶を切りまわしてゐたのであるが、その上に社會的な仕事にも精を出してゐたのである。

その頃働いてゐた仕事が、顧りみてさう社會的に意義ある仕事であつたとも思へぬのであるけれど、――私自身、考へさせられ、敎へられるところは隨分と多かつたが――あの頃の激しかつた心が、なつかしいのだ。

私は疲れたのであらうか。

今、私の心の奥底に、未だ燃し切らない激しさがそのまゝ

殘つてゐて、捌け口のないのを苦しんでゐるか、と思ふことがある。

快ろよく吾れに働く仕事あれ！

といふ心は、今日多くの女が――男も勿論もつてゐるのであらう――もつてゐるところである。私も、時折この唄を呟さんでみる。

職業婦人の地位

自分が就職してゐ乍ら、一ケ月どれだけの報酬を得るのか知らずに、問ひ訊しもしないで働いてゐる職業婦人三人を見た。この見識なき態度が職業婦人の立場を弱くし、ひいて、一般被傭者階級全體をおとし入れるものであることを知らないのであらうか。

今日のやうに失業群が洪水のやうに巷に溢れてゐるとき、雇ひ入れる側の立場は强くて、多くは飢餓線をすれ〳〵位の薄給に甘んじて雇ひ入れられるのであるが、それ以上の要求や條件をもち出すことは折角の就職機會を自ら放擲するにひとしい結果しか齎らさないのだから勢ひ泣ね入りになつてしまふ。而も、街頭にはおびたゞしい豫備軍が――求職者が控へてゐるのだから、就職者の立場は一層弱く、始終失職の脅威を背面からうけ乍ら、如何に劣惡な條件の下にでも、唯々として働かなければならない樣な成立ちの上に置かれてゐる現狀である。

職業紹介所の月報を見ると、就職率は男女をとはず隨分惡いのであるが、女と子供は、一人前の男子に比べたら遙かに求人されてゐる。所謂産業合理化の結果、長く勤續した熟練の高給者を止めて、二分の一、三分の一給料ですむ女や子供を以てこれに代らせる傾向である。

これらの女や子供達は、いふまでもなく男子被傭者の家族としてプロレタリア階級に屬する者であつてみれば、結局、高給な父や兄に代つて、薄給な娘の收入が、一家の生計費にならねばならぬ事情となるのだから、全體としての生活低下を餘儀なくさせる大きな損失である。

今や、資本家的産業合理化は一層進渉しつゝ、中小の資本は大きな資本に併呑せられ、企業は合理化して再編制される結果職を失ふ者の數は手のつけやうのない程に益々多くなる

であらう。

この狀勢を前にして爲政者に何の具體的な對策もなく、無產者に、何ら依るべき有力な戰線なく、共濟機關がない。

職業市場に、個人個人として飽くなき搾取下にさらされてゐる職業婦人が、今、自らの無力の故に自分の收入を減らし、勤務條件を惡くする樣な結果を招いてゐるばかりでない。職業男子の地位を脅かす產業豫備軍として、その無力さを、給料の安さを、資本家側から歡迎されるといふやうな立場に現在おかれてゐるのである。

職業婦人よ、全被傭者階級の抗爭に加つてたゝかへ。

全日本婦選大會の失敗

全日本婦選大會が、東京明治神宮で行はれたとき私も參加した。集る者五〇〇名。盛んな示威運動であつた。

然し、實質的に成功であつたとは決して云へない。半日にも足りない貴重な數時間の大半を、政黨屋のお座なり祝辭に提供してしまつて、肝心の協議に移つてからは始終時計の針の進み加減を氣にしい〳〵の駈足ですませてしまつたのは、今後のために司會者の反省を促したいところだと思つた。多少なりとも今の議會の實際に觸れ、今の議員と直接の交渉をもつて婦選運動を進めてゐる程の者ならば、今日の議會で婦人參政權問題が、決してまじめには取扱はれてゐないのである事を知つてゐる筈である。――婦人參政權問題ばかりでない。國民の要求するあらゆる問題について、彼らは問題それ自身としてはとりあげてゐないのである。利權の方便に利用したり、勢力擴大に役立てたり、反對黨攻擊に資したり、といつた風に利用してゐるだけであるから、婦人參政權のやうに未だ直ちに甘い汁を吸ひ難い題目では、興味がのらないのである。さういふ人を大まじめに招待して、恭しく長らしい祝辭拜聽なんて――而も總裁とか大臣とかは皆代讀だ――どうも時代錯誤だ。

將來の婦人參政權は、さういふお座なり政治家の手から政治を奪ひとつて、眞に國民の利害に根ざした國政の料理をやり直す必要があることを、少しく心ある者は皆感じてをり、云つてゐるのに、いつまでも有力政黨に慇懃を通じておいた方が、政權獲得のために得策だらうなんていふ秋波心を起し

てゐるのは愚だ。

拒まれてゐる被支配者の權利はつねに、鬪爭に依つてしかこれを奪ひ返すことは出來ぬ。鬪爭なくして、棚から牡丹餅がおちる樣に與へられることがもしあつたら、饅頭を與へて頭をなぐるやうな結果が必ず伴ふものだ。すでに今でさへ、そろ〳〵婦人の政治勢力を利用しやうとする露骨な用意が、政治家の鎧の下に見うけられるでないか。無知な因襲に捉はれ易い婦人が、ともすれば反動勢力の土盛りをしてゐることは、英、米、ドイツ其の他の婦人參政權實施の成績で見うけらるなさけない事實である。この悔ひをわが國に再びしてはならないからこそ、婦選獲得の初歩時代から、政治と生活の實際との關聯について、各政黨の本質について、何故無産黨を支持しなければならぬかについて、いろ〳〵啓蒙してゆく必要があるのだ。

政治教育をいかにして婦人の間に進めてゆくか――

婦人參政權をえたら、如何に行使するか――

この二つが當日の議題であつた。

無産黨支持の立場に立つ者が力戰大いに努めたとはいふものゝ、その戰術がまづかつた。(私自身、具體的に云ひたいと思ふことが相當に多かつたのに、例の妙な恥しがりから、序論を云つただけで引込んでしまつたのを後悔してゐる。)

いはゆる婦人團體で、あり來りの活動をして來てゐる人たちに無産黨の立場を理解して貰ふためには、もつと實際問題をとりあげて、議論や公式でないものゝ云ひ樣でぢり〳〵と推してかないと、反つて反撥させてしまふであらう。

無産黨は、男の方では相變らず分立し、相爭つてゐるけれど、然し共同鬪爭は鐘ケ淵紡績會社の爭議にも、東京市電の爭議にも、又議會に於ても行はれてゐるし、もつと進んで全無産黨が單一の政黨に結集して、廣い意味で無産者のために鬪ひを有力にしなければならぬといふ努力は、議論でなく實際問題として進められてゐる。この時に、全日本婦選大會といふやうなよい機會を女が摑へたのに、無産黨支持を表明してゐる婦人團體の間に何ら打合せも、計畫もないまゝで會に臨んだことは惜しいことであつた。お互ひに反省したいことである。

殊に社民黨の婦人同盟が後援團體に加はらなかつたのは如何なる事情があつたか知らぬが、惜しいことだつた。來年度には是非しつかりした戰術をもつて臨みたいものである。

將來の結婚と性生活□□
□□□□に對する考察

岡田敏子

子供を産まない約束の下にする結婚。いつでも自由に合議の離婚をすることが出來るといふ出發から入る結婚。これが即ち友愛結婚であるが、友愛結が私たちに紹介されたのはついさき頃であるのに新着の「將來の結婚」はもつと突こんだ新しさで私たちの性生活の合理化と、將來の結婚について考へさせてくれます。

「將來の結婚」の著者バートランド・ラツセルは、既に有名な社會批評家であります。彼はリンゼイの「友愛結婚」をよんで、「賢明な保守主義者のよい主張である。多くの人は、道德的から云つてもこの恩惠ゆたかな主張をうけ入れるに違ひない」と云つてゐる程の新しがりでありますから、友受結婚をさへ非道德だと批難する人達の頭と較べたら、大分の距離があるわけです。

扨、ラツセルの主張するところに聞くと、將來の結婚生活は男と女の性生活を重心として、二重結婚の様式になるであらう。即ち、全然二人の自由意志に依つて、相愛する男女が結婚生活をつゞけることは差支へないが、一方、國家の干渉に依つて、優生學上の立場から、よい子供を、よい數だけ産むために、幾組もの選ばれた男女が、生殖だけを目的にして、自分の戀人でない人と性的交渉に入らねばならぬといふのであります。

ですから、戀人同志の結合に於ては絕對に避妊を行はなければならないのであつて、勝手に子供を生むことを禁ぜられます。その代り、生むべき子供は充分な健康診斷と知能檢査の結果、最も適當と認められる男と女を選定して、理想的な條件の下に、必要數だけの子供を生ませます。

この子供に對する養教育の責任と母體の休養とに關する一切の責任は國家が負

ひ、惡質の子供に依る不經濟からまぬかれるために、國家は狂人、犯罪人、アルコール中毒者、その他遺傳性病氣をもつ者、虚弱者、意志薄弱者等は子供を生むことを許されません。

　ラッセルは、從來のやうな家族制度は父親を責任者として父權中心に成立して來たものでありますが、かうした父親の責任も義務も一切を國家社會が負ふやうになれば、勢ひ家族制度はほろびるものであつて、このほろぶべき家族制度の沒落過程に、リンゼイのいふ「友愛結婚」の如きものがちよつと現れて來るのだといふのであります。

　今日のやうに、性的に成熟した澤山の男と女が、結婚を思ひつゝ、經濟事情が結婚生活を行ふことを許さないばかりに不自然な、心にもない獨身生活をつゞけてゆかねばならないし、或ひは、結婚以外の方法で不健全な秘密のうちに性生活をいとなまねばならない。その結果、多くの社會的罪惡や、不幸が引出されて來る。かういふ事情の下で、ラッセルの提案は、優生學上から一應の考察を要求する價値があるだらうと思ひます。

　念のために、こゝにリンゼイの友愛結婚の主張を紹介しますならば、彼リンゼイは、

「友愛結婚」とは、男女相互の經濟事情や、健康や、氣質やのために結婚してすぐに子供が出來ては困る、と思ふ人たちが、戀愛と友情と、協力とを目的にして避妊結婚に入ることがある。即ち、事情がよくなるまで公然と産兒の調節をみとめる制度である。從つて、未だ子供をもたない間に双方合議の上、離婚をすることも自由にするのだといふのです。

　これはすでにアメリカで多くの若い男女に依つて實行されてゐるのであつて、リンゼイは、これを法律に依つて表向き認めること、その結果として、科學的な産兒調節法を教へる機關を公けに拵へ、同時に結婚に入る男女のために豫め、男女の性の意義は何かといふことについて又、戀愛の技巧はどうすべきか、について必要な知識を與へて、無知や、極端な淑德振つた禮讓や、その他のことから結婚生活を不幸にするやうな陷穽をさけさせ、多少の豫備知識をもつて幸福な結婚に入ることが出來るやうに用意したいと云ふのであります。

　かうして書いて來ると、曾つて私たちは、エレン・ケイより、戀愛の自由と、結婚の意義について、重要な暗示を與へられたことを思ひ出さずにはゐられないの

です。

十八世紀より十九世紀に至る婦人運動の前期の主張が、參政權運動が代表するやうに政治上、法律上、教育上、職業上に、男子と平等の權利と自由を獲得しようとして來たものであるのに對して、北歐殊にドイツ、スカンジナヴィア等に起つた婦人運動は、母性の權利の要求でありました。そして、この思想の代表者がケイであつたのであります。

「收入のある仕事をもつてゐない家庭婦人は、つねに男子の主權に從屬させられてゐるのであるが、然し、男子に從屬するのがいやだと云うて、結婚した婦人が男子と双方で、或ひは男子に代つて、家族の生計費を稼ぐといふことは、現代が生んだ婦人奴隷制度の中でも、最も悪い形式だといはねばならぬ。

婦人は、よりよい人種を作るために、母性としての性的能力を十分に働かせ完成させるべき重要な使命をもつものである。この使命の故に、婦人は、社會に向つてこの母性の安全を要求する權利をもち、社會は當然にその義務をおふべきである」

というて、女が、一、家政の主宰者として、二、子供の教育者として、三、子供を生む母として、同時に四、家族の生計費の稼ぎ手として四重の重荷を負ひ乍ら、この四重の重荷を甘んじてうけなければ、婦人の人間としての權利も自由もないとする考へ方や、そのために起るべき家庭の崩壞をば、子供の養育や家事に對する社會的施設例へば、托兒所とか、共同哺育所とか、共同洗濯所とか、共同食事場とかをいろ／＼に行つて姑息な救濟をしてゆかうとする考へ方を、手ひどく批難してゐるのであります。

リンゼイもラッセルも、私たちの戀愛生活を支配し、結婚生活を支配する經濟問題をみつめて、その解決策として、一は産兒制限を前提とすべしと云ひ、他は子供養育と母親の休養を國家が負ふ、と主張してゐるのは、たしかにケイよりは現實的にものを考へてゐるといふことが出來ませう。

即ちエレン・ケイは女の生活をひたすらに戀愛と結婚に繫いで、それの延長であるところの母性の完成といふことに唯一最高の價値をみようとするのであります。ですからケイは、「もし女が家庭を外にして何か社會的な仕事に從事するのでなくては解放されない、といふのであるなら、私はむしろ、從來のやうに隸屬的な地位に婦人が滿足してゐた方がよいと思ふ」とまで局言してゐるのであります。

ただ私たちが知らねばならないのは、

ケイは産業革命に入つたばかりの社會に生れ、生長して、行詰つた資本主義の經濟組織が、婦人や子供の上に及ぼしてゐるこの甚い害惡を知らない前期の思想家であつたといふこと、及び、彼女はどこまでもロマンテツクな婦人思想家として死ぬまでその獨身生活をつゞけて、現在の不幸に直接に觸れてゆく機會を殆んどもたなかつたといふこと、この二つであります。

新しい社會が建設されて、女も男も子供もその生存を確認されるやうな喜ばしい時代が到來した日にこそ、私たちはケイに聞くべき幾多の母性の問題、兒童の問題があると信ぜられるのですが、今はその過渡時代で、私たちの力に依つて、どんな新しい社會を持ち來たすべきか、そのための私たちの組織を、鬪爭を、戰術を、如何に行ふべきか、この重要な當面の問題を前にして、私たちの結婚も性生活もまた、おのづからに過渡的な樣相をもち、過渡的な形態のもとに行はれるであらうことは云ふまでもありません。

三人とも暗示に富んだ主張であるとは云ひ乍ら、肯定しえない多くのものが無雜作に投げ出されてゐるのに對して私たちは、私達の心の中に、又實踐の上にもつとほん物の、机上に揑ちあげた戀愛ではなく、ペンで書いた結婚でなく、空に描いた性生活ではないほんとうのことについて考へてみねばならぬと思ひます。

職業婦人社人事部に就て

主任　青柳桃枝

此度、わたくしどもの申合せで、職業婦人社に、人事部を置きました。

從來、人事事項は煩にたえぬまで奥氏の手に取り扱はれたもので、今更、新しく設けたわけではありませんが、これからは、もつと陣容を整へて、誰方にも利用されるものでありたいし、又、ゆく〳〵は、職業婦人社の成長を補けるものでありたいと、其の結果も、大いに、職業婦人の爲に期するところがあると確信してゐるのであります。

私共の人事部の特徴は、職を求める人と人を求める人双方から幾分の據金をして頂いて、それを人事部基金として積み立て、相互救援の實を揚げてゆきたいと希ふ點であります。

人事部の會計その他に關する責任は主任が一切を負ひます。

◇

（暫定内規よりの拔萃）

一、職を求められる方
申込金として金五十錢也
（この金子は人事部の積立金になります）
職をえられた時は最初の收入の一割也（分納てもよろしい）
（この金子は事業部の經常費になります）

一、人を求められる方
適當な人材を御紹介したるごき金壹圓也
（この金子は事業部の經常費になります）
雇入れのために要したる旅費を負擔して頂きます

廣島に於ける廢娼運動講演會の無爲を嘆いて

西しげ子

五月五日夜七時半　袋町小學校講堂に於て廓淸會理事長　安部磯雄廢娼運動講演會

定刻七時半には、五六百人の聽衆が集つた。

初夏の爽かな氣持ちのうちに、人道的最高の講演會は男子五百人、女子百人と言つたかたちである。

先づ川合牧師は開會の辭とともに、この運動の必要を說き、明るい世界を建設する爲に「苦しめるものを征伐する」と言はれるや、忽ち前方の一人が「失言だ」と怒鳴り出した。

「失言でないと思ふ、それは貴方方の聞き方が惡いのだ」「言ひかへろ」と騷ぎ出し、見る間に牧師を打倒した。「警官何をしとる」「早く行かないか」場内騷然として婦人は二三立ち上つて歸つて仕舞つた。

かゝるうちに警官が、幾人かを檢束して行つた。

牧師は起き上りさま、四方から打たれ乍らなほもみなをなだめ「そんなに聞えたのは惡かつた」とて漸やくすみ、次に矯風會山陽部長十時菊子女史の、會のして來た事業の報告があつた。

それがおはつて宣言書を朗讀するや、故意的な拍手をおくつて二度までも繰り返された宣言書の要旨は聞く事を得なかつた。

斯くて縣學務部長の挨拶があり、先づ「今夕は個人として」と言はれるや「個人なら肩書を消せ」「君らが社會運動をやる事があるか」と彌次り出し、到々肩書を消さして仕舞つた。十分も經たないうちに降壇して仕舞はれた。

場内のこの狀勢では安部さんは如何なさるかと氣遣つてると、社會民衆黨々首としての貫錄を充分見せて溫厚な姿を拍手に迎へられて壇上に運ばれた。

「今夜は二つの理論から廢娼運動の必要な事を說きます」と言はれるや、又しても彌次り出して、

「公娼を徹廢して私娼を獎勵するのか」

「德川家康の非政を思はぬか」と一齊に叫びたてた。

「娼妓は俺達にや必要なんだ」

安部さんは何も論をすゝめられる。

前方の煽動者らしい一人が又しても故意の拍手を始めた。みなが雷同する。「喧ましい靜かにしろ」二階の方から叫ぶ。警官は默つて臨官してる丈けである。安部さんへ個人的な彌次が飛ぶ。

靜肅な聽衆は官憲の制止しないのをまどろしと思つたか「警官取締れ」と此處彼處で叫ぶ。「文句がありや出て來い」と應酬する。

暫しするうち又も後方から三人五人と前

方へ進んで空氣は益々亂れて來た。
　この時完全に安部さんの講演は靜粛な私達の頭には入らなくなつた。
　流石に溫厚な安部さんも「靜粛な皆様には誠にお氣の毒と思ふが、御覧の通りのこの情勢では最早論旨をすゝめる事は出來ません。如何なる雄辯家をもつてしても駄めです」とて斷然降壇して仕舞はれた。聽衆はやんやと騷ぐ、彌次馬同志で喧嘩をおつ始める。警官が走る。場内は殺氣立つて陰鬱な空氣は場内に充滿した。斯くして廣島に於ける廢娼運動發會式は矯風會幹部の方の骨折りも効なく、安部さんの講演約五分間にして散會となつて仕舞つた。
「俺達にや娼妓が必要なんだから仕方がないや、」
と叫んだ人の姿は一見して勞働運動の鬪士であるらしかつた。その人は澤山の警官と顔見知りの様な口の利き方であつたから。
　遠く船山あたりから來て一と抗辯してゐた樓主らしい人もあつた。
　樓主その人にとつて今すぐに公娼徹廢されろ事は苦痛には違ひなかろうけれども今夜は公娼制度の廢止に對する講演會なのである。
　入り口で渡された請願書は要するに今夜の講演を聽いて本心がそう命じたなら、記名捺印すべきものであつて、決して强制的な分子の含まれて居ない人道的な叫びであつたのだ。
　要するに樓主その人の余りに利巳的な算段の下に、計畫的な妨害であつた以外の何ものでもないと思つた。現代の社會制度の下にあつて、今猶幾年月を要して斷行出來得る事か。
　全然問題にして居ない人の多數ある日本に於いて、如何に多難であるかを想ふ時、安部さんの努力、並に矯風會の人達に心からなる感謝の心が湧いて來た。
　脣を啜しても聞いて貰いたいのは、今夜彌次つた人達であるのに、その人達は聞く必要を認めぬと言うて居る。斯うした光景を目前に見て、これは女性自らの自覺にまつ事が目下の急務であると思つた。
　女性が地に叩かれて生きた何百年、今その殼を脱ぎ捨て黎明の世界に一歩を踏み出して居る。取殘されてる様に思つて居られるであろう幾萬の公娼の人に向つて、黎明は近いと告げ度いと思つた。
　齊しく弱い人達の爲に更に個人の人格の向上の爲に精進する事は、過渡期にある私達のとる可き途であり、斯くしてこそ理想的な時代の建設は完成さる可きである。
　資本主義制度の產物である公娼制度は、かゝる人達の人道的な光のもとに、速かに徹廢さる可きものである。彌次つた人達もその夜は利己的な氣持のもとに中止した事を喜こんだであらうけれども、後日人道的な立場から再び安部さんの理論を聽き度く思ふ日が必ずある事と思はれる。
　それは矯風會の人達の隣人に對する愛の寬い事に於て。さらに社會制度の改革される時に於て。兎もあれ靜粛な聽衆の一人であつた私は、再び安部さんの廢娼運動講演會を聽く機會を切に待つものである。

婦人運動ニュース

▼瓦斯代を下げよ

―だん／＼下つてゐる―

　不景氣はひどくなつてゆく物價も低落の時勢、瓦斯會社の原料も大分安くなつたのだから、料金を下げるのはあたり前だ。

　商工省は各瓦斯會社に料金の引下げを勸告してゐる。

　すでに仙臺では四十錢下げた。熊本、長崎、佐世保、福岡、でも一割二分下げ。長野では五十錢下げ。鹿兒島では五十七錢、足利では八十錢下げ、神戸や中京でも目下値下げの準備中である。

　然し、安くなれば餘計使ふであらうから會社は損のしつこがない。瓦斯會社とか電燈會社とかは競爭會社が多くの場合ないのだから、ボラレ放題にボラレても消費者は泣きね入りするのが普通である。これは、營利會社にまかしておくのがいけないのだ。つねに、不當な料金をとられない様に監視と要求をおこたらないこと／＼。

◉救護法案いよ／＼實施近づく

　前々議會で通過した救護法がいよ／＼六年四月から實施されることになつて、その準備期間三ケ月間に要する六萬二千二百圓を、本年度の實行豫算追加要求として可決された。

　救護法に計上されてゐる金額は今の處八百萬圓で、その内四百萬圓を國庫が負擔し、あとの四百萬圓は各府縣の支出とすることになつてゐる。

　肝要な扶助法も、僅かにこの八百萬圓の一部に計上されてゐるだけである。

國産品愛用の運動

　政府は大々的な國産品愛用運動を初めることになつた。各官省その他で使ふものも、成べく日本製のものを使ふやう大懸りな調査と研究をすゝめてゐる。

　勤儉獎勵婦人委員會もそれを助けて、全國に於ける一千五百萬の會員總出動で日常に使用する品物について、國産品と船來品との品質の優劣を調べて、カードを作り、パスした商品を公表して推獎することにしたといふ。

　國産品は粗惡で高くて、船來品は品質がよくて安いのが通り相場になつてゐた。われ／＼が國産品を使用することに依つて、製造元や大資本家だけを儲けさせる結果にならぬ樣に注意が肝要。

ある手紙



　亂暴な規則が又一つ出來ました。それは「今後は、教科書、參考書以外のよみものを一切禁ずる」と云ふのです。理由は「學生は教科書だけをよんでゐればいゝ。一生懸命に勉強する學生なら參考書をよむ時間はいくらあつても足りない位で、とても娯樂的なものを讀むやうな餘裕はない筈だ」と。そして又「娯樂的な書物の中にも時によいものもあるにはある。然しその大部分は極めて俗惡なものであるから、批判力のないものによませると云ふことは非常に危險だ。つまりさうした讀書は時間と精力と金の浪費である。」と云ふのです。これは「お菓子をたべな

▼ブルヂョア婦人團體が合流する
參政權を中心として類を以て集まる傾向

婦人參政促進懇談會が開かれた大臣の夫人も、實業家夫人も、知名の婦人教育家も、ブルヂョア團體の幹事も、みんな一束になつて婦人公民權を前にして進出しようといふのだ。

職業婦人、勞働婦人、無産知識階級婦人等が婦人の解放は無産政黨よりと叫んで、結束しつゝあるとき、知つてか知らでか、いつでも反動勢力のお役に立ちさうなブルヂヨア婦人國の勢揃ひだ。

かうして、婦人の勢力も時代と共にその階級性をあらはにして來る。既成政黨の目のつけ處は、こゝにある。知識もあり、財産もあり、相當收入も多い有力な婦人勢力は、かうして次第に既成勢力に接近して行つて、無産婦人大衆の利害問題とは大分かけはなれた處に——いや、時には、無産婦人大衆の生活を蹂躪し踏臺にしてさへ、政治といふものを男子支配階級と一つになつてやらうといふ段取なのである。

今年のメーデー

東京のメーデーは賑かだつた。二千人に近い婦人の參加者が男子勞働者に交つて勇敢な行進を續けた。消費組合婦人會は例年の通り水の接待をやつた。



婦人勞働者の月經時休養を與へよ、といふ大幟が進む（メーデー圖）

▼不景氣はいよいよ深刻

中小の工場や事務所や商店に雇はれてゐる者の日給不安が深刻になつて來た。農村小學校教員の月給不拂も多い由。工場閉鎖、工場長の夜逃げはザラにある。三菱の長崎造船所ではすでに數百名の首を切つたのに、最近順番休業制を初めた。隔週に一週間宛休ませて、日給の六割を支給する制度で、功妙な減給である。大阪の湯淺伸銅でも、勞働時間をH一時間延長すると共に、土日曜を休業とすることに決定。このために職工の給料は二割減となる。弱い職業婦人、勞働婦人の減給、勞働強化はいはずもがなの現狀。

くても生きて行けるのだから、お菓子は一切與へない」と云ふのと同じことです。人間はごく必要なものだけで滿足するでせうか。勉强につひやす時間が足りなくても、彼等は本がよみたいのです。子供はお菓子がほしいのです。子供の生活からお菓子をのぞいたらたのしみの大半が失はれるやうに、若い少年少女から、やさしい、美しい物語をうばつたら、その生活はどんなにさみしいものになつてしまふでせう。

第二の理由である「よい書物は極めてまれであつて、生徒は善惡を識別するだけの批判力がないから」と云ふ理由は一應きけばもつともらしく思へますがこれもよく考へれば大變まちがつてゐるのです。勿論私も現在行はれてゐる書物の多くが、ごくつまらないものであることは認めます。ことに雜誌の大部分は極めて俗惡な記事でみたされてゐます。然し、一方に非常にすぐれた書物もずいぶん澤山あるのです。惡いものゝ中からよ

▼母性教育協會生る

山田わか、竹内茂代、高良富子、平塚明子等を理事にあげて、母性教育協會といふのが生れた。

正しき母性教育の普及、母性保護運動、性的病氣をもつ男子との結婚制限運動、等をはじめて大いに母性擁護のためにたゝかふといふ。又、母性教育上の良き參考書や機關雜誌も發行するし、ゆく〳〵は、母性教育會館をも建てる筈であるといふ。

▼貴族院で流産した公民權

政友會と民政黨が先陣爭ひまでやつてそれ〴〵に提出した婦人公民權案も、議場にてはまるでおざなり一遍の取扱ひ方だ。齋藤内務次官は政府側の意見を開陳して曰く「政府は主義として贊成であるが、公民權の範圍についてはなほ研究の餘地がある。從つて本案そのものに贊成することは出來ぬ」と、白々しい説明をしてゐる。府縣會を除いた市町村の公民權に限るとか、被選擧權はもう暫く見合せるとかいふのであるが、通過の誠意はミヂンも見出されないのだ。

然しともかくも衆議院で可決して貴族院に廻されたのであるが、委員附托となつたまゝ審議未了、明るみに出ずしまつて握りつぶされた。

▼東京青年團へ警告——長野青年團から

長野縣聯合青年團幹事會では、東京市電ストライキのとき、東京市聯合青年團員が俄然運轉手となつて罷業破りをしたことを遺憾とし、次のやうな決議書を送つた。

決議

這般東京市電同盟罷業に對し東京市聯合青年團が社會奉仕の下に執りたる行動は、共の社會的、歴史的使命を負へる青年團の本質に悖る事甚し仍つて長野縣聯合青年團は東京市聯合青年團の猛省を促す

愛兒女性協會産兒制限相談所では三ケ月間に取扱つた件數が四百六十二人に及んださうである。その内病弱者が〇、二六。多産者が〇、四五。貧乏のためが〇、三八の割合であつたといふ。



ブルヂョア婦人團體の進出協議會

いものをえらび出してやるだけの親切が何故ないのでせう。批判力がないなら、何故批判力を得させるやうに努力しないのでせう。よいものをよむ習慣をつければ子供たちは自然につまらぬよみ物からはなれてしまふでせう。

私の兩親は子供の讀む書物に注意を拂ひ、常に非常に親切に指導してくれたので、私は學校で受ける以上の教育をさうした課外のよみものから受けたのでした。そしてそれは、私の場合最も善い教育法でした。私の學課についてみるのに、田舍の子供たちはよく勉强します。だのに解釋力の貧しさはお話にならぬほどです。ことに文學的なもの、思想的なものに對する理解力は殆んど絶無だと云つてもよろしい。そして又、田舍の生徒は作文が下手です。自然は極めて美しいのですが、彼等はその美を感じないのです。感じてはゐてもそれを表現することが出來ないのです。かうしたことは皆その讀書力のとぼしさをかた

▼目ざましい大和乙女の進出振り

——第三回世界オリンピツク大會への派遣選手



日本女子スポーツ聯盟ではプラーグで開かれる第三回世界オリンピツク大會への派遣選手五名をきめた。何れも驚くべき體格と記錄の所有者である。

本城ハツ子氏は京都二條高女生で十九歲、身長五尺五寸、六十米、百米、四百米リレーに出る記錄百メートル十二秒八。

村岡美枝子さんは愛知縣立高女生で、十八歲。身長五尺五寸六十米、百米、走布跳、四百米リレーに出る。

渡邊すみ子さんは京都二條高女生で十五歲。身長五尺三寸五分、記錄百メートル十三秒、六十米、百米、走布跳、四百米リレーに出る。

中西みち子さんは京都二條高女生で十八歲。五尺四寸、記錄百メートル十三秒、八十米ハードル、百米、四百米リレーに出る。

人見絹枝氏は身長五尺六寸。記錄、走布跳、二百米、三種競技、百米、六百米、槍投、四百米リレー、八十米ハードル、圓盤投、八百米に出る。今や、人氣はスポーツに集注した觀がある。早稻田と慶應の野球戰をみるために屆出でられた入場申込ハガキが十六萬九千五十六枚であるいふ

◉無產黨合同機運動く

全國民衆黨系勞働の組合全國同盟と、日本大衆黨系の勞働組合組合同盟とが合同して、經濟戰線の統一をはかつてゐると同時に、無產政黨戰線統一全國協議會と全國民衆黨と、日本大衆黨とは、合同協議會を開いてその具體化につとめてゐる。追つて社民黨も、勞農黨をもさそつて單一無產黨結成にまい進する豫定である。

今度の議會中に、全無產黨が失業鬪爭に、合力したのは、唯一の收獲だつだといはねばならぬ。

▼全日本婦選大會の示威

四月二十七日、東京の日本青年會館で、全日本の婦選大會が催された。會衆六百、北海道からも、九州からも、秋田からも、鳥取からも集つた婦人の大示威運動であつた。

無產既成兩派の政黨から祝辭が山のやうに搔き集められてあつた。翌日は議會傍聽に殺倒した

つてゐます。讀本の中の文章を理解させるためには彼等をとりかこんでゐる自然の美しさにきづかせるためには、是非もつと多く讀ませる必要があるのです。

無味乾燥な讀本の代りに、たゞかたくるしい修身の代りに、正しい美しい物語をきかせ、詩をよませ、時にはやさしい論文を解釋してやることは、どんなに子供たちの生活を豊かにすることでせう。私は私の受けたやうな敎育を子供たちのためにもしたい思つたのです。然し子供たちの家庭は大體貧しく、學校はかうしたことには冷淡でしたので、私は一人ではじめたのです。一ケ月に十錢（これは少女雜誌の約五分の一てす）づつ二百人分二十圓を集め、それて適當な本を購入しました。そして期限を定め、代り代りに生徒にそれをよませるやうにしたのです。この方法は極めてうまくゆきました。そして私共の書柵には、いろ〳〵な種類の書物が大分ならびました。生徒は少しづゝ、讀書の本當の喜びを知りはじめたやうてす。然し、これもやめなければならなくなりました。學校が禁じたからてす。私はこの結果を知つてゐます。生徒は又元のつまらない少女雜誌に、婦人雜誌に歸つて行くでせう。禁じられても彼等は、きつとそれをやめはしないでせうか。ら。

經濟講座

失業者の洪水と產業合理化

山路逸郎

不景氣はどこまで落ちてゆくのか見當がつきません。臨時議會で、申しわけ程失業者救濟の問題がとりあげられましたがそれも目のあたりに見る現實の問題として議會でとり上げられたといふだけで、その對策については何ら具體的な實行案がないのでした。緊縮を行ひ大いに產業を合理化すれば、やがて景氣が恢復するであらう、といつた風の至極無責任な高見の見物式狀態でした。けふを、食ふや食はずの斷崖で生死の境に苦しんでゐる失業者が、この言に從つてゐられるでせうか。無產黨代議士の松谷與二郎氏が、「失業の財源として相續稅をもつと澤山に取り立てたらよい」と論じたとき、安達內相は、「勞働者にちつとも負擔をさせないで失業者を救濟しようとする本案は虫が良すぎる」といつて反對してゐる程の無責任さであります。これに腹を立てない者があつたら氣狂ひです。

では、日本の失業者現在數はどれ程かといふのに、大約百萬といはれてゐます。然しこれも覺つかない推定數ですから實數は餘程多いやうです。先進諸外國では、失業保險制度がよく發達してゐるし、勞働組合に加盟しない勞働者は極く少ないのですから、これらの組合や保險加入者から割出してほゞ確かな數を算出することが出來る（それとても、組合にも入らず保險にも加入してゐない失業者は算入されないのですが）のに反して、わが國には失業保險制度なく、勞働組合も外部的な鬪爭を主としてゐて、未だ失業救濟とか、職業紹介とかの仕事を大してやつてゐないので、失業統計の參考には

なり難いのです。それにわが國には家族制度といふものがあつて、失業しても血緣の者、親戚等に寄食する者が相當にあり、ほんの小遣錢稼ぎ程度の低收入をもつてゐてもこれを失業者とみない調査方法をとつてゐるし、因循な見榮から、失業記錄にのることを恥づる傾向があるために、遙かに失業者の調査が困難になつてゐます。

普通に新聞雜誌に報導せられてゐる數字——失業者の現在數は三十五萬といふのでありますが、實數百萬といふのと大分開きがあるのは、社會局長官が全國の知事に命じて每月一回一日附現在の失業者をしらべて報告させてゐるその數字に依るものであります。此の調査にのる者の範圍は、

一、給料生活者(月收二〇〇圓以下の者)
一、一般勞働者(雇傭關係の下にある賃銀勞働者だけで、藝娼妓、酌婦、仲居及び外國人を省く)
一、日傭勞働者

(學校の新卒業生の就職率が非常に惡いのですがこれは調査に入つてない)

そして調査をした範圍は、主要な工業都市と、夕張、足尾大牟田、の主要鑛山所在地とその隣接地域とでありますから全國的な數ではないのであります。その調査の結果は次のやうになつてゐます。

	大正十四年	昭和三年九月	同十二月	四年二月
調査人口	二、三五五、〇一五人	六、五九九、七七八人	六、九四一、九三七人	七、〇二二、三三二人
失業給料生活者	一九、三九六	五九、一五八	六三、四一〇	六六、九六六
同一般勞働者	四六、二七八	一、五二一、二九一	一二〇、七五九	一三一、一九四
同日傭勞働者	三九、九三八	三、五一六、二六八	一三一、一〇〇	一五二、一二三
同計	一〇五、六二三	六、二六八、五九〇	三一五、二六九	三五〇、三二一
同比率	四、四八%	四、〇七%	四、五四%	四、九九%

即ち、五パーセントの失業率で三十五萬人であります。これをイギリスの一〇、五%(二百萬人)、ドイツの二〇%(三百五十萬人)と比べたら大部少ない方ですが、然しこの調査を基本にして推定する失業者總數が百萬位といふのであります。百萬といふ失業者の大群が、働くに職が與へられず、食ふに食なく飢餓に瀕してゐるといふことは、重大な社會問題であり政治問題でなければなりません。

去年の春頃、

「東京へ出て來ても、もう職業はありません」

といふポスターを地方の驛ごとに貼りまわして、疲弊した農

村を捨てゝ都會で一旗上げようとする人々を阻止するために大鳳はに宣傳をしましたが、いよ〳〵窮し、いよ〳〵疲弊してゆく農村が、「歸農しても喰つてゆく道はありませんよ」と立札を立てゝ、都會で喰ひつめた失業者がこの頃のやうに凄じい勢ひで歸農するのを阻むとしたらどうでせう。農村に居る自分逹だけでさへあんなに甚い過勞と粗食との中でなほ暮しが立つてゆかない現狀であり乍ら、幸か不幸か、家族制度の美風の殘存してゐる故に、この上都會の失業者まで抱きこまなければならないといふことは、結局農村をして、ますます飢えさせ、共倒れにさせるばかりであります。都會に溢れるやうに失業者が出るとき、農村も、賣るべきものは安く職を失ひ、收入を減らされて、窮迫のどん底にあえいでゐる時なのです。かうした都鄙をあげて生活苦はヘビーをかけて深刻になるばかりであります。

では、どうしてこんなに失業者が激增してゐるのでありませうか。――去る三月六日に全世界失業大群による示威運動が行はれて、幾多血を流しました。

「われに職を與へよ、さもなくば失業手當を」

「市の金庫及び大資本家に對する課税に依つて、直ちに失業者を救濟せよ」

「雇傭主が負擔する失業保險を制定せよ」

「資本家的產業合理化絕對反對」

といふ風な叫びが全世界の失業者に依つて揚げられました。

扨、ではなぜこんなにも失業者が殖えてゆくでせう。これはいはゆる產業合理化の結果であります。

私たちが生活を合理化して能率的にし、經濟的にすることが可能である樣に、社會全般に亘る仕事の上にも產業の合理化をやれば、大量に作つて廉價に迅速になりますから、能率と經濟と兩方面から社會として望ましいことでなければならないのですのに、今や全無產階級をあげて、民政黨內閣のいはゆる產業合理化に反對するのは、今日奬勵されてゐる合理化は全然資本家のためにだけなる合理化であるからでありま す。あるイギリスの新聞が、「日本の產業合理化は緊縮と縮小に依る合理化だから、失業者を流出する。イギリスの合理化はうんと金子をかけて油を注いで、產業の協力者である勞働者の能率をあげさせようとするのだから、失業問題の解決策

として合理化を採用する」と云つてゐます。消極的と積極的の差があつても、どちらも資本家の得にだけしようとする合理化であることは同じです。

一例をあげてみれば、セメント一〇〇斤の製造に、曾て三四〇人の勞働を要したのに、新しい器械と新しい方法の採用の結果は六十五人で充分作ることが出來るやうになつた。又足尾銅山で、大正八年と昭和三年との比較に於て、坑夫の數が約七割といふ多數を減らし乍ら、産業合理化に依る新らしい方法の採用の結果は、銅産出が反つて、增してゐるといふのであります。かういふ場合に、それだけ安いセメントがわれ〳〵の手に入り、銅價がひき下げられるのかと云へば決してさうでなくて、反つて、同業者の協定に依つて値段がひき上げられるのであります。そして生產量を控へて値段の下落を防ぐのであります。即ち、うんと職工數をへらして生產量を制限するとか、賣値を協定して安くせず、資本家本位の產業合理化に依つて、損失は勞働者にだけ着せて、自分達は從前同樣もしくはそれ以上の得をするのであります。

即ち、ほんとうの合理化が行へれば、勞働は簡易になり、短時間で充分の收獲をあげることが出來るのですから、社會全體の生產力が增す結果、全ての人が少しの勞働でよい生活を保證されるやうになり、萬人の需要がよく充たされる樣になるから、社會全體の福祉をますわけですが、現在行はれてゐる所の產業合理化は、能率の上る新しい方法を採用すればするほど、勞働者數を減らす――それだけ失業者を出し、勞働者の收入減となります。新しい器械の採用につれて、人間は機械の番人か、助手位にしか役立たぬやうになる――その結果、また給料を下げてしまふ。

精巧な新機械は、非常に能率的で敏速に動くから、それに附添ふ人間は一日かゝつて仕上げてゐた仕事を一時間でし遂げてしまふ樣な結果になりますがために、勞働の强加を伴ひます。又休みなき機械の輪轉のそばにゐて、休養のいとまもないために、結局一層ひどく働いて收入は反對に下げられてしまふことになるのであります。又失業者が多くなるといふことは、そのために就職してゐる者の立場を弱くし、常におびやかすものですから、全般的に被傭者階級を生活苦につきおとすことになるのであります。男に比べて、女や子供の就職率の方がよいといはれるのも、給料の安い方でまにあはせようとする傾向を示すもので、その結果は、全被傭者階級の生活低下を來してゐるのであります。

短篇

四月三十日夜の一節

織田顔

×町停留場の近くで不意につかまへられた。

一人ぼつちで、退屈し切つてゐた巡査が、此の痩せてヒヨロ長い女を捕物にして、高慢さうにポケットから手帖を出した。

しかし極度の恐怖を顔に表はしてゐた。

中田みね子は早速悧巧に化けることを工夫した。

——姓名は？……——加藤清子。——本當か！……——ホントウ。——住所は？……——市外中野町二〇〇番地。——本當だね！……——本當です。——人がわざ〳〵さつきはりつけたばかりのビラをなんでお前がはがして歩くのか。

——惡いから。大へんに惡い宣傳ビラです。

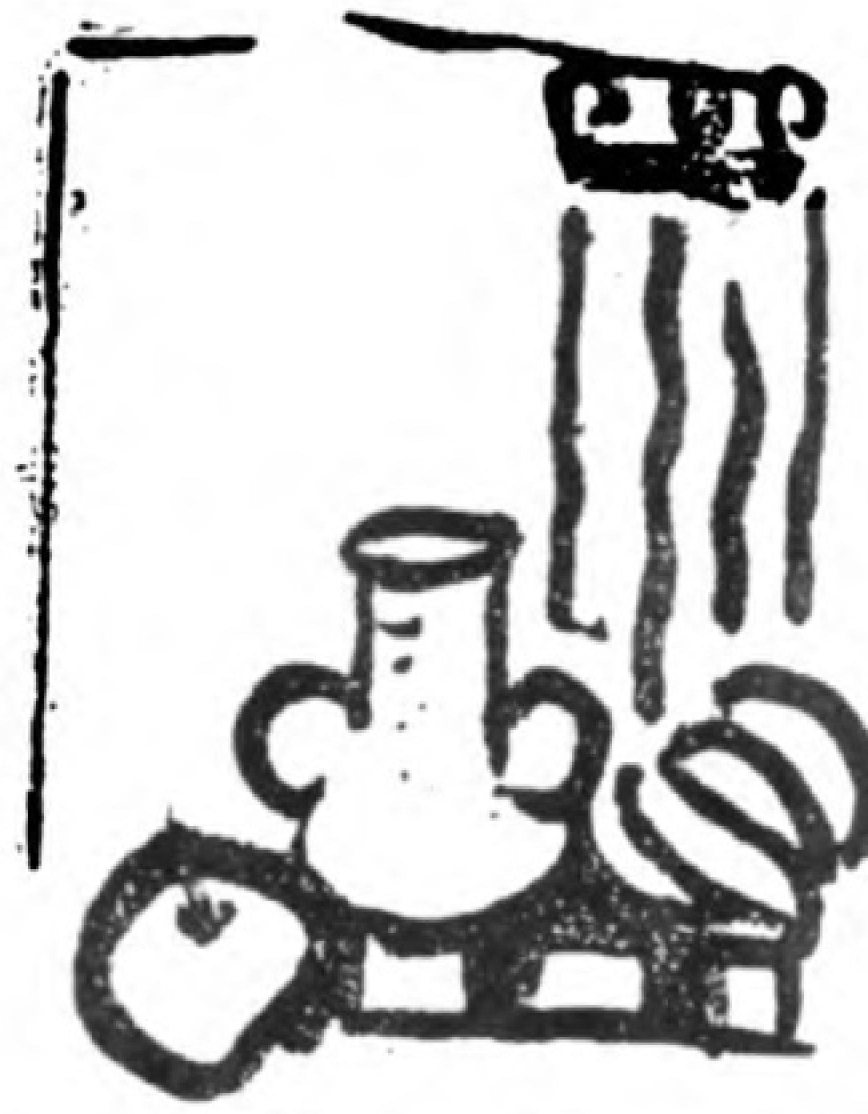
——健國會のビラは、決して惡い筈はない。しかも當局では、此のビラをはりつけることを、非常に喜んで許してやつたんだ。それをお前が後から、みんなヒツぺがして歩くなんて、ケシカランぢやないか

——そんなガラクタ文句なんか澤山です。私は忙がしいから早く簡單にきめて下さいよ。

――生意氣言ふな、大體女のクセに甚だよろしくない。「國家の反逆を企てるメーデーをボクメツせよ」と言ふ此のビラをヒツペガスなんて、お前は主義者だらう。
――どうも頭が惡くてコマルわね……。――それは誰のことだ……。――ホントウ……。――何がホントウだとぼけ女。大體、こんな眞夜中に、よろしくない。これは嚴重にしらべにやならん。
――あゝあ、俗物にはかなわぬ。
――コラツ、生意氣な。今、本署に電話をかけるから、おとなしく待つとれ。どうもはや、喧嘩好きの娘つ子だなあ。
　巡査が受話器に手をかけるや否や、みね子は突差にバタバタ逃げ出した。巡査は追ふのを止めた。
――あゝ、かなはん〳〵。
　周圍が再び靜寂に歸ると、その巡査は譯もない氣紛れを起して泣いた。
――此の商賣はつらいぞ。おらもプロレタリアだ。
　そして大きな欠をした。妙に臆病氣が出て來た。逃げられた加藤清子の元氣が羨しくなつた。息子は、まちがつても、此の商賣にはいれまいと決心したりした。
　腹がへり、淋しくなつたので、其邊をコツコツ歩きだした。傍の、おでん屋も戸をしめてしまつた。
　板塀に張られてゐる一枚の殘つたビラの前に立止まつた。
――明日はメーデーで、叉うるさいな。しかしその次には、
――俺もメーデーにはいらうか。
などゝとんちんかんな考へを出して、クスリツと笑つてみた。
　彼は健國會のビラの前で、極く靜かに獨唱した。あまりやるせない氣持になつたので。

草津よいとこ　いつでもおいで　ドツコイシヨ
お湯の中にも　コウリヤ　花が咲くよ　チョイナチョイナ
草津藝者は　親切ものよ　ドツコイシヨ
雨の降らぬに　コウリヤ　傘を借すよ　チョイナチョイナ

　彼はうれしくなつた。頑固な頭がゆるんで來た。俺は巡査だ！と言ふことを忘れた。頬かむりをして、横笛を吹いて歩いた、田舍時代の氣持に廻轉した。
　ガンとはりつめてゐた警官氣質が、陽に照らされた氷柱のやうに解けかゝつて、持つて生れたイタズラ氣がモコ〳〵と出て來た。
　彼は丸く背中を曲げ、手を伸ばした。
　健國會のビラを、ザリ〳〵ツと、ヒツペがしてしまつたのである。
　彼は氣が晴々した。機械的な思考だけに、疲れてゐる彼の頭が夜明けのやうに、晴々したのだ。
　彼は輕く無相想に笑つて、加藤清子は、えらい娘だぞ、と敬意を表した。（終）



五月の日記より

榎本八十子

一　日

里芋種の植ゑ殘りを庭一杯に擴げて干してをいたら、ヨイトマケの女連が七八人通り掛りにぞろ／＼庭に入つて來て、一貫目いくらだねと訊いた。さあ之だつて腐つたのは一つもないから四十錢位だと言つたら、高けえや、東京ならもつと安く買へらあ、馬鹿臭いや、と仰々しく騷ぎ立てゝ去つてしまつた。その實、親類の者には五十錢で賣つた筈だ。

百姓から直接買へば、何んでも無價のやうに思つてゐる彼女等の都會人的無邪氣さ？

今夜は松ちやんところの小母さんの百ケ日のお念佛があるからと頼みに來た。博奕打と都會病（百姓を自嘲する奴）に取り憑かれて貧死させた小母さんの亡き後は、疊まで賣り飛ばされて、猫の肉まで食つてゐる松ちやんが、それでもよく念佛するなと、うちのお姑さんが感心し乍ら出かけた。

殺しちやつてから念佛したつて何になるもんかと、彼がつぶやく。ふん、まつたくよと自分も言ふ。

五　日

立のお節句だから、例によつてごもくを作る。お姑さん、水天宮に詣り乍ら、筍七本背負つて芝へいつて貰ふ。田舍婆が、でかい荷物を背負つて來たつて笑はれるといけないから橋のところへ行つたら下ろすべいな、と言ふから、何、構ふこたあゝりませんよ。笑ふ奴にや笑はしてをきなされと言つて上げる。善良なお婆さん。

井田さんが家中でお湯に見えて話す。今日のごもくは、少しくちやついたね。と、ミヤスが批評した。

六　日

白薔薇の蕾が目立つて來た。蒼味がかつた野生のものだが大きくぽかりと咲くから嬉しい。鋭どい棘があるにも關はらず、人がむしりとつていくから癪だ。と、思つてゐたら、今日午後に隣の富さんが怒氣を含んだ顔付きでやつて來て、「俺が昨日植ゑた許りの茄子苗を、うちの女の子が五本許り引つこ拔いた」と抗議して來た。どうも現場を見られたのだから仕方がない。謝罪つた。

筍を掘つても掘つても小遣ひに困る。二圓貸して與れと國さんところの女の子が借りに來た。お米を買ふのだといふ。お米買ふのだと聞くと斷り切れないで、無けなしの金を出してやつちやつた。筍で潤澤な生活費を得たのは昔の事。今はみんな靑息吐息で冬中から竹山を苛めてゐるのだから、思ふ樣に筍が出ないのは當り前なんだ。

沒落するにしても自然に！ と彼は希つてゐるやうだが、此弦卷の人達は、實に無自覺に、無統制に、沒落へと日々刻々に踏み込んでいくやうだ。地廻りの八百屋にさへ小馬鹿にされる無氣力さからお互に早く立ち上り度いものだ。

十五日

紫色の桐の花がよく散る日だ。麥の穗が出盛つて、田圃が今日は殊に賑やかだ。脚氣の足がだるくてやり切れなかつたが、追はれるのが辛いので道玄坂へ服地を買ひにいく。夏の子供服を引き受けちやつたからだ。てるちやんにミシンを掛けるだけでも賴まうとしたら、胃腸を惡くして寢てゐるといふ。實は、靑梅を食べてやられたのだとか。困つた娘さんだな。十八にもなつて。

午後ミセス井田が、フライパンを引つ下げて、共産ドーナツを作らうつてわけ。早速とり掛つて三時半にあたふたと引き上げる。

風强くなる。夜十二時までに、服五着分裁斷する。近處の子供達がみんな私の作つた服を着てゐるから一寸愉快だ。たゞ、だら／＼と疲れちやつて眠れないのに弱る。

二十日

よく眠れたやうだが、頭の芯が痛いなと思つてゐると、「大變なこつたよ」と姑が寢間に這入つて來た。「町田へ來る玉が何處つかへ逃げちやつたとよ」で、吃驚したものゝすぐ起き上る氣持が出ない。

「昨夜十一時頃に向ふから通知して來たので、方々へ日延べの知らせやら何やらでごつた返しだとよ」と。實は今日、私

のところとも親類關係になつてゐる町田といふ大百姓へ嫁入りがある筈だつた。その嫁さんが、昨日急に家出してしまつたといふのだ。長いことかゝつてやつと見付けた嫁さんだのにと同情はしたが、なあに當然さと言ひ度いのだ。だつて、町田では、嫁探しでも、婿探しでも、相性と方角さへよければ他は調べる必要なしといふ恐ろしい冒險家だから、それで今度の縁談も、見合もしなけりや、寫眞一つ見もせず、神様に伺つて見て、相性と方角が大變いゝからと、話が決つたのだといふ。嫁さんに來る娘も娘だ。明日嫁入りしやうといふ時に、自分は思ひ切つてゐた筈の男から威嚇されて連れ出されていつたのだといふが、かういふ人達も今の世の中にどうやら動いてゐるのだなとしか感慨もないや。

脚氣が重くなりさうなので、注射に通ひ初める。よく之まで辛棒出來たと、お醫者にほめられたんやら皮肉られたのやら。

二十一日

立がお手本を眞黑にされたといつてべそを搔き乍ら學校から歸つて來た。「馬鹿ツ、てめえがぼんやりの間抜けだからよ、何故先生に言ひつけてやらねんだ」と、立て續けに姑さんが怒鳴りつける。私が、ひやつとして、じーんと油汗を感じてゐる間に、立が、お得意の白眼を出して祖母の顔を睨み返してゐる。

いつだつたか、餘り、母親の私を差しをいて激しい汚い叱り方をするから、「お祖母ちやん、可愛い孫でも、憎い處があるのですね」と訊いたら、「憎いときにや、いつこく憎いや」、と體中震はしてゐた。どうもこのお祖母ちやんの無茶な叱り方には閉口します。然し、子供が、案外それに馴れて、一向感じないので、母親の私だけが、油汗や冷汗を流してしまふ。

この間、荒木屋のさつちやんが、肺病で死んだお孃さんの着物をすつかり貰つて、奉公下りをすると間もなく病みついて、同じやうに死んでしまつたと思つたら、又、妹の千枝さんが、ぽつくり亡くなつたといふ話を聞く。

奉公して、一枚でも餘計に着物を拵らへようとして、がつ〳〵してゐる此邊の娘さん達よ少し反省して下さい。

二十二日

今日も又風の强い日。日本橋の山川さんから、服の催足。澤山ある筈なのに、金持つて慾の深いものだ。ゆつくり縫つてやらうや。

お晝御飯の時、五つの女の子が、「お母さん、きよちやんが干場のあぜつぽへうんこしたのよ。竹山ん中へした方がいゝのねえ、肥料になるから」といつた。「うん、まつたくだ」とお祖母ちやんが同感する。吹き出しちやつても、子供は平氣。成程よく訓練されてゐます。

下隣のお婆さんの中氣が癒らないのは、便所の方角がいけないのだといふので、昨日から大工がとん〱やり初めた。つい半月前は風呂場の位置がテキサスだとか、鬼門だとかで臺處を取り換へたり、植木の植ゑ方がよくないとて、掘り返したり、年中忙しい中を、がた〱と弄つてゐるが、お婆さんはちつともよくなりはしない。垂れ流しのお襁褓を緣側へ放り出して置くと、鷄がこつ〱と突ついてゐる。臭氣が、私の方へまで傳つて來る。赤坊を背負つた嫁さんの啜り泣きがいつも暗い臺處の隅から私の臺所へ聞えて來る。

今日もだ。お婆さんが、何の因果でかようと、おい〱泣いてゐた。

五月の日記はいつも憂欝だ。この位で止めませう。

× ×

アメリカ合衆國の課稅の法律

アメリカ合衆國では今日課稅の觀察標準は各家族の狀態に置いてゐる。未婚者には稅を重くし、結婚者には輕くし、殊は子女を有する者には一部稅を免じてゐる。即、未結婚者には年所得千ドル以上の時には、その全所得の四%だけ特別稅をかけ、結婚者には純所得が年五千ドル以下の時は、二千五百ドルを控除し、その殘額に稅を課し、五千ドル以上の所得のときには二千ドルを控除し、殘りに同樣稅を課するのである。

未だ獨立しない子供で收入を得てゐるとしても、四百ドル以下の收入ならば稅は課さない。

又子供が三人も四人もあつて、年所得が三千ドル乃至四千ドル以下の時には、その稅の全部又は全部に近く免ぜらる。

年四千ドル以上の純所得を有する者には、八%の稅を課し、所得がこれ以上に增せば、稅もそれに比例して高く課せれるる。然し年所得が二十五萬ドル以上になれば、その五〇%を稅に支拂はねばならない。

この外に「相續稅」の規定がある。これは大なる富を各個人に蓄積せしめて置かずに、廣く一般に使用せんとする點からみて又、民族衛生的の意義を有するものである。

其他「寡婦保護法」なる法律がある。

これは夫又は保護者を失つた婦人の爲に、其子供各一人につき百ドル乃至二百ドル宛補助する法律である。

農村をひきたてるために

――セツトルメントとは何か――

杉山元次郎

隣保事業 即ちセツトルメントは、今日では都會に限られてゐる狀態であるが、重大な社會問題として農村問題が論ぜられてゐる折柄、農民運動の側面より、文化促進の運動として農村セツトルメントの必要を痛感する者である。

今日、農村で疲弊したどん底生活をしてゐる人達の外に、彼らよりは幾分增しな生活狀態にゐる者がある。地主、醫師、神官、僧侶、學校敎師等々、かういふ人たちが隣保事業（セツトルメント）精神を理解して、働いてゆくならば、仕事は限りもなく澤山に出て來るであらう。

何事も有能な人材をえなければ出來ることでないが、特にセツトルメントは、人を中心にして初めて成立つ仕事であるから、わが邦の農村復興のためにぜひ有力な人が出て働いてほしいと思ふ。

一、農村セツトルメントの建物

農村セツトルメントは大きな會館に多くの人を集めて氣勢をあげる、といふ風な仕事ではない。それ故に、建物についてムリな苦勢をする必要は寸毫もないのであるが、然し、歐米に於ては、セツトルメントが、完備した會館を持つてよく働けてゐるのに思ひ合せてみても、相互に便利よく設計された建物がほしいものである。

村の小學校や、公會堂や、役場や、敎會の建設にあたつて、セツトルメントに使用しえられる樣豫め工夫をしておくと、一擧兩得であらう。大きな邸宅を解放するのもよい。

第一に、講演、娯樂などに使用する大集會室。

二、大集會室をめぐりて小室數室、各種クラブの研究會や協議室にあてる。

三、小使室、料理室、圖書室、音樂室、托兒場、等々。

二、農村セツトルメントの仕事

（一）幼年者のための仕事

イ、農繁期の晝間托兒所などは最も必要

なものであらう。働かねばならぬ農婦から足手まといな子供をあづかること、毎年野川や井戸に溺死する子供の數だけでも相當に多いといふのだから、これらの子供を樂しく遊ばせ乍ら敎育もし、衛生保健上の面倒もみてやることが必要である。

ロ、映畫童謠の夕、よくない活動寫眞をみせまいと努力するよりも、時々よい映畫をみせて喜ばせるやうにするのが一層よい事は解り切つてゐよう。それに村の子供らの歌を加へたり、蓄音器をかけたり、又、郷黨出身の音樂家、童話家などに來て貰つて清新な喜びに浸らせることはよい。

ハ、お伽噺の會、月に一回位學校の先生が代る／＼お伽噺話をしてやつたり、新聞社のかういふ方面の專門家に依賴したりする。三月のひな祭り、五月の節句、盆、刈り入れの祝ひなど、それ／＼にふさわしい集會をして、老人や父母を招待して共に喜ぶのも面白からう。

（二）青年男女に對する仕事

イ、農民學校、デンマークの國民學校式に、冬の農閑期や、夏の幾日を、青年を集めて生きた知識を與へる社會敎育、今日の補習學校や公民學校の敎育は公式的で、官僚主義で若い心をひきつけない。

ロ、讀書クラブ、これが完全に行はれるならば、平素の青年敎育の大半は成功したといふべきである。讀書細目を組織的に立て、順序をきめて、讀んだあとは討論會や質問會や感想會をするのである。

米國コロネル大學で行つてゐる大學擴張運動では、立派なパンフレットを發行してゐる。これは農民として必要な一切の智識がえられる樣になつてゐるが、羨ましいことである。

ハ、圖書室、農村に巡回文庫があるが、余りに貧弱で、興味をひかない。府縣立の大きな圖書館とレンラクをとつて、よい書物をすぐ手に入れる樣にして、農村家庭に知識と文化をもたらす近道をこゝに見出すがよい。

時には書物を積んだ自動車を走らせて、讀書の趣味を刺戟するのもよい。

ニ、講演會、雄辯會、

ホ、農村劇、

ヘ、處女に對しては、禮儀作法、裁縫、料理、編物、洋裁、廢物利用法、染物、等々。一年間のプロを立てゝ組織的、計畫的に進めてゆくがよい。

（三）一家の主婦に對する仕事

婦人クラブを作つて主婦を高めてゆく。

農村の婦人の健康を智能をよくして行つて見識を擴げることは、即ち、農場及び村の生活全體を改善してゆくことにもなるのであるから、主婦を集めて、食料の價値、保存方法、家政と衛生、家庭採暖法、灯火水道の知識、鳥獸の飼ひ方、菜園花卉、等々についてあらゆる知識を與へてゆくのである。

單に、婦人に敎へるばかりでなく、進んで婦人も農村セツトルメントの仕事に參加する樣に導くのが必要である。

（四）一家の戶主に對する仕事

繪と話でわかり易く、町村自治のこと、時事問題、農業上の知識、などを吹きこんでゆく。

小學校兒童の消費組合に就いて



文部省の統計によれば全國小學校兒童一ヶ年の學費は、平均十圓と言はれてゐる。しかし多くの地方では、之を五圓或はそれ以下と見るのが適當であるし、而もこの中には教科書の代金が含まれてゐるのでこれを除いた普通學用品と言はれてゐる鉛筆や筆記帳等に費される金額は、極めて僅かなものと見なくてはならぬ。それをざつと三圓と見て、千五百の兒童を持つてゐる學校で四千五百圓、それが鉛筆とか、消しゴムとか其他様々の種類のものに分割されるわけであるが、さうなると鉛筆だけに、消し

◇村落の家庭◇

◆片山茂郎

家族主義の日本!! それが倫理學者や乃至修養論者の譯もなく肯定した我國の長所であり、ひいては我國體概念の一要素であつた。併し、何處に、之を實證するものがあつたであらうか。維新以前に於てか、それも確かなことは云へない。國民一般の描いたイリユージョンではなかつた。古のことは茲に再檢しない。假りに、そんな理想社會があつたとしよう。

今日では、人々は、家族主義の日本を田園に求めようとする。都市生活は夫婦と其の子女のつながりである家庭であるとして、これには誰しも否定の論を持ち出さないが、せめては、この美しいイリユージョンを、未だ文化に浴しない傳統の多い村落の中に存在すと云ふ、一種の觀念を捨てたくない心持がある。或る程度に進んだ考察者はこれに一部の不安を持つてゐるであらうが、檢討のメスを試みる英斷に到達しないやうである。

保守と急進とは必らずしも、其の中間に自由思想のプロセスを挿挾むものでは

ゴムだけに費される金額は非常に僅かなものになつてしまふ。兒童數が五百或はそれ以下しかない學校（地方にはこんなのが實に多い）ではそれが更にひどくなる。

　その僅かな品物を問屋から仕入れるとした所で、さう安く仕入れるとは出來ないから、商人より安く賣るといふ所までは行けさうに思へない。多少安く賣れたとしてもその爲に父兄が格別感謝するわけでもなからうし、そればかりか商人から恨みを買ふ事は、勿論覺語してゐなくてはならないので、實際その衝に當る教員達には骨折損のくたびれ儲け位が、おちだと見なくてはならぬ。一見容易に思はれる小學校兒童消費組合の設置が、必要を叫ばれてゐる割合に實現しないのは、全くこの理由による。それは一應もつともに思へる。しかしそれだけでその設置を斷念してしまふことは、餘りに早計である。

「とても利益のありさうに見えないその鉛筆や紙を賣る店が、現に立派に立つて居るではないか。その利益を多くの人々に分つ爲に、小學校の學用品消費組合を作ること

ない。農民の思想傾向に於ても、それを認められる。從つて農村文化が都市文化の如く、急進的に來ないものと誰が斷じ得るであらうか。今日の農村では、そんな美しい傳統を有つ家庭なるものは容易に發見されない。あれば、それは殆んど頽廢に傾いてゐる云はば家族一種の寄合世帶に過ぎない。しかし、こゝにも、矢張り思想の矛盾がある。家長權なるものがその一例であつて、歴史的乃至法理上のそれと、事實のそれとの間には、格段の隔りがあることを認めなければならぬ。

　實際上、今日迄の觀念では、家族の各成員の生活が保證されない。中流以下の農家では、多くは勞力過剩であつて、長男は兎も角、次男及姉妹の家庭に安住する餘地を存しない。そこで、父母の存命中は家に對する關心が可なり强かつた子女達も、長兄が家長となるに及んでは、自己の將來に對する安全と云ふことに關心を有つやうになる。單なる思想の變化からでも左様である以上に、實際家庭の生活は弟妹達を家族の一員、而も家族心の强烈なるべき成員としての生活要件も賦與することは困難である。衣食足りて禮節を知る、と云ふ語は新しい意義に於て此場合にも通用されよう。

　私有財産制の發達は家族主義村落社會の維持に役立つたであらうが、一面に於ては、それが家族の各成員に個々に力强く考慮される場合に、却つて反對の効果を招來することがあり得るのではなからうか。家族が個々に獨立して、各自が自己の生活を作り出さうとする努力、それが、やがては、家庭内に於ける成員各個の私有財産に對する關心を深める。今日の田園の家庭に於て、其の傾向の著しいも

は、その主旨を理解することの出來るものには容易に實現し得る害のものである。」

簡單なこれだけのことを考へるならば、誠意ある者にとつてはまことに容易な兒童學用品の消費組合が既に組織され、登記されてゐる所の千葉縣、靜岡縣の經營上の實際について、我々は多くのことを學び得ると思ふ。千葉縣では各町村の組合を單位とするが故に、手續き上の煩瑣が稍してや丶發展を妨げてゐはしまいかと思ふから、これから新に設立しようと志す人々には、靜岡縣の組合について見ることが便利であらうと思ひそれを概觀することにした。

靜岡縣には現在郡單位の三組合が登記され、この三組合を抱合する縣聯合は、更に全國購買組合聯合會に加盟してゐる。駿東郡、富士郡、中遠(周智、磐田の二郡からなる)各學用品購買組合がそれである。その魁をなした駿東郡學用品購買組合は、郡廳以前當時郡長の職に在つた某氏の主唱に基づいて、大正十四年三月に生れた。三組合の代表としてこれを見ることにする。

のがあるやうに思はれる。

氏族制度の崩壞は暫く措き、近くは分家制度が、過去の史的發展の過程として起り、再轉して、一家内に於ける獨立經濟團が、所謂家族の概念を離れて起生した。この事實を如何なる方法で家族主義維持と云ふ問題と結び付けてよいか。

家族主義では家族の成員が家長に從順なるを要求する。嚴密に云へば、家長ではなくて、家と云ふ傳統の精神を表徴する觀念上の存在に對してゞある。弟妹の結婚と云ふ條件に對しても家長權が及んだのは勿論である。併し、今日の農村では、それさへ權威を疑はなければならぬ。富有な家庭では、生活の脅威が少ない丈け、弟妹達は比較的安心して、悪く云へば白ばくれて、親族乃至家長權に服從し、舊來の結婚制度によることを肯定する。自作農以下の階級の家庭の子女は、そんな生優しい上品なことを考へてゐられない。弟妹は勿論、家長たるべき長男の婚姻問題でも、從來の如き親權又は家長權がどの程度まで支配するか、甚だ怪しいものである。家風に合ふ合はぬなど丶云ふ考よりも、當事者は如何にして結婚生活に入るべきかの實際問題、即ちその根抵たる生活問題の不安と結婚欲望の交錯にいらだゝされてゐる。親權や家長權が、この不安と焦燥とを除去せざる限り、美しい家族主義の再興美化は望まれない。

本部　沼津（舊郡役所建物內）
　事務員　三名
支部　郡內各町村小學校內
　支部購買主事は校長に依囑
組合員資格　兒童の保護者、學校職員、
　其他獨立の生計を營む者
組合員出資金　一口一圓、最初の拂込高十錢
役員　組合長、理事者は郡內有力者中より選出
　購買主事　小學校長が之に當る。
　販賣係　職員、兒童、男女各二人
　金錢係　二人
　記帳係　二人
組合員數　約一萬四千人（昭和三年度現在）
賣上高　約二萬二千圓

學用品購買組合が最初どうしても當面しなければならない困難は、その資金を得なければならない事にある。兒童の保護者を全部加入させる爲には、その拂込金が多くてはいけないのである。それ故に駿東郡は

私の立場から觀て

西野いく

「親から毆られた事なんて一度もない」

どこへ出ても大平にかう言ひたいと、私は何遍思つたか知れない。親から毆られたと言ふ事を、恥ぢる氣持が私に現はれて來たのは何時からかはつきりしないけれど、多分師範學校の寄宿舍で、ブルヂョア生活にあこがれる樣な氣分に感染してからのことではないかと思ふ。私は人々が、その兩親からどんな風にして育てられて來たかといふ事について語り合ふ時、自分は頑固に口をつぐんだまゝ、非常な熱心さで傾聽する。父母が自分に對して如何に優しかつたかを語る氣持、それはどんなに誇りに滿ちたものであらうか。そしてその誇りを持ち得ない自分の境遇を恥ぢ、憤らずには居れなかつた。今思へばそれはなんて無邪氣な虛榮であつたことよ。虛榮！　さうした名稱の下に葬られてしまひ、青年の農村離反を慨く識者からは、全く無視されて來たこの可憐な不滿、それを私達はどう見たらよいだらうか。「憎しとてたゝくにあらず竹の雪」これは長い間、節制を缺いた我儘な父母や、虫のいゝ教師や、剛慾一點張りの雇主が、彼等の被保護者だと思つ

それの最初の拂込ヶ十錢とし、それ以上をとらない事にしたわけであるが、組合精神から見て、この様に責任のうすいものは、あまり感心すべきではない。しかし多くを加盟させるにはこれも已むを得ないといふ外はない。それで資金の不足は當然起つて來る問題であり、之を補ふには郡内の有力者の貸付を仰がなければならない。組合長や理事者がさうした有力者の中から選ばれるのはその爲である。

その次に起る問題は、組合發展の爲に努力を惜しまない事務擔當者（本部の事務員三人を除いた全部は小學校の職員なのであるが）の誠意に對して、組合が何を酬ゆるかである。今の所それをする力が殆どないと言ふ。眞に組合の精神を理解し得るものにとつては、それはむしろ當然な事として受け取れるのであるから、支部相互の聯絡機關としても利用される郡敎育會の任務は實に重大なものであることが、うなづかれる。設立後日尚淺い中に本部所在地である沼津の大火によつて、組合も多大の損害を免れなかつたので、それが今日の影響にさ

てゐる、色々な意味での弱者に對する暴力沙汰を、彼等に都合よく言ひくるめるのに役立つて來た。然り、可憐なその被保護者達はさうした暴力に對してさへ、感謝を强要されて來たのである。けれども私達は、時勢のもたらす變化が、暴力の現れる形態の上にも齊しく及ぼさてれゐる事實を見逃すわけには行かない。敎養のある人々は、自分の品位を下げてしまふ樣な行動をとることを、一般に好まないのが普通だ。カッとして思はず毆りつける、そんな父母や敎師はさうした人々の間ではこの頃中々見當らない。だから稀にそんな事をする敎師があると、新聞紙上で大袈裟に叩きつけられて、折角苦心して築き上げた地位を、立ち處に失つてしまふ位だ。一見好意に見える子供達の生活に對する口やかましい干渉は、彼等が現在選び取つてゐる暴力行爲だと見てはいけないだらうか。彼等はそれを愛だと呼ばなくては承知出來ないらしいが。すべての文明から置き去りにされ勝ちな農村は、こゝでも遙におくれてしまつた。頑是ない幼兒が母の平手打ちを食ふ光景は、そこでは大して珍らしいものではない。そのあまりにいたましい場面をそむける前に、先づその母の怒りの形相に注意せよ。母のその怒りが、子供にどんな影響を及ぼすかについて考へよ。窮乏した農村は、物質生活に於ける餘裕は勿論の事、母の懷を暖かく感ずる餘裕さへもない。「だからどうしたと云ふのか」と言ふ問ひに私は答へなくてはならない。それはつまり農村が持つ唯一の强みなのだと。

幸か不幸か、自分で豫想さへもしなかつたのに、師範學校の生徒になつた私が、

し續いてゐるとは事實であるが、それでも大した經營困難に陷らずにその歩みが續けられてゐるといふことは注目に價してゐないだらうか。

而も組合の設立は次の樣な好結果を事實に於てもたらしてゐるといふ。

1、市價の牽制

2、各自の學用品平等

3、浪費抑制

4、責任感養成

これ等の缺乏に依て苦悶をつゞけなければならないわれ等無產者は、たゞそれだけを見てもそれに類した購買組合が續々設置される樣、切望せずには居られない。

かうして、「生產者から直接消費者へ」の域にまで、逐次近づいて行きたいものである。

（第二回婦人講座の講義（辻誠氏）により、文責在記者）

その以前に耐えて來た百姓娘としての生活を、はからずも一緒に暮す樣になつた學友達のそれと比較した時、兩者の驚くべき差異は、私をして直に農村生活を輕侮せしめ、忌避せしめた。その辯私が家以外に一歩も踏み出せなかつたのは、私生來の臆病からだ。その私にやれない事を農村の青年達は實によくやつてのけた。彼等はその父母を捨てる事に、案外平氣であつた。父母から優しい扱ひを受けなかつた事は、その時の彼等にどれだけ幸したか知れないのだ。

しかしそれが農村青年の强みだといふのでは勿論ない。彼等が農村をすてるといふ事は、彼等が無意識の中に現在の農村生活を否定してゐる事實を意味する。反逆の消極的な現れである。それが多く消極的の域に止められてしまふのは、用意周到な現在の敎育制度のおかげである。もう大勢は、それ位の障害をものともしない所まで來てゐるのではなからうか。その大勢に乘じて前進しようとする者にとつて、最も大きな妨げは、その肉身に對することだはりであらうと思はれるのだが、それが比較的少いといふ事は、農村青年にとつて何より大きな强みではなからうか。

「連れがない。」泣きながら歸つて來る幼い子供をなだめ切れなくなつた多忙な母が、已むを得ずその愛情をゆがめてしまう事實を見て、その幼兒をあはれむ氣持、自分を毆りつける親の暴戾を怒る氣持、それの正しい成長こそ、私達の最も望ましいものなのである。聰明な母の優しい愛情を我人共に受ける權利があると主張するものは、それとは全く似て非な愛情に對する未練を、すつかり淸算してかゝらなくてはならない。私はその勇氣を、より多く農村の人々に期待する。阿片の味を知らない者に、阿片を禁ずることは困難でなからうと思ふからである。

不滿の及ぼす範圍を小さく限定してしまふ事、私は何よりもそれを恐れる。私は私の體驗をその警戒に役立てることが出來なかつたら隨分恥づかしい事だと思ふ。

その日その日をつゞる

小泉せい

盛めし六錢、にしめ五錢の夕めしを濟まして今は五月五日、節句だつた。餅菓子屋にはチマキ、柏餅がどつさり山の樣につんである。檢溫器と痰壺とを枕元に置いた下宿の寢床が頭に浮ぶ。

「チマキ、おいくら?」

十二三の半顏面火傷きずを持つた小僧が、「ヘエいらつしやい」を忘れない樣に云つた後で、「一束四十錢です」と答へる。餘り好きでもない餅菓子四十錢！　止さうとしたが、その小僧の顏とスタイルがいとしくて買つてしまつた。事務所には、共働社から何でも出版物の淸書をしてもらひたいと頼みに來られてゐるところで、玄關先があかるい。「おや、いらつしやい。これチマキ、召し上つていらつしやいな、まあ上へおがんなさいましな」みんながさう云つて彼をすすめてゐたところとて、私も彼を上へ上らせて、十一錢の夕めしと四十錢のムダ喰ひを笑ひながらチマキの皮を剝いた。

Nさん〇さん、原稿を前にして「妾字が下手で」と柄になく? やさしく遠慮だ。「上手下手つて比較的のものだわ、だいいち、そんな遠慮みたいなこと……。婦人運動なんかで少しでも表面的な活動をしようとする人のすることでないわ」Nさん〇さん仕方のない顏で默つてしまつたが、默らないのは共働社君！

「婦人運動つてだいたい何です」いくらか挑戰的、今更失言取消ともゆかない。この小僧奴。「婦人運動とはよい子を生んでよい生活の出來る運動」彼を若いと思ひ込んでゐるから私に半ば冗談で胡麻化すつもりだつた。ところがなかなかどうして、彼は、異なこときくものかなとばかり眞正面から打つかつて私を追究するのだつた。おや危い、胡麻化せないぞ！

だから私は内心降參しながら云つた。「とに角、私共が、何も彼も信頼し安心して住める社會をつくり度いのですよ、結局。いつ來るか分らない世界へのまあ一歩だと私は思うてゐるのですよ。今やつてゐることは最後のものでも目的でもなし、手段だと思つてゐるのです。」

＊　＊　＊

「それでは早速その家を見ておからうではありませんか」と云ふことで、事務所の大石さんを加へ、中野の一家總出で、本所にあるその家へ私はみんなを案内することになつた。途中、病床にある平田さんを見舞つて、遂に平田さんも引ばり出したのであつた。

この家といふのは、震災後、深川邊にあつたバラツクを復興局から拂ひ下げて來て、そ

の頃隣保館々長の役にあつた人が、託兒所にするつもりで建てたものであつたが、そのまゝ一度も使はないでなげ出されて、體よく建ち腐れと云ふ有様になつてゐた。そこで、後任館長の横山氏が、なんとかこれを生かしたいものだ、かうして地代を拂つて家を遊ばしてゐるのは勿體ないことだと、私にもらされたことに端を發し、それでは、それを職業婦人社の方で使はせて貰はふではないかと、奥氏の提稱で、下検分を思ひ立つたわけであつた。

下は兎ゝ角、そんな風だから、託兒所にでも、又、何ぞ講座でもある時には直ぐにでも使へさうになつてゐるが、二階は、五分板で間を八ツにし切り、その部屋は二段にした粗末な箱ベツド八ヶ用意されてあつた。さながら、むさい三等船室といふ體裁のものであつた。使ふにしても、これは造作をしなければ使へさうにない建て方だ、と皆さう思うたらしい。

ここの經營は財團法人になつてゐて社會事業目的のもので、殊に系累者は一燈園關係であることが、何より心强いのである。

婦女新聞三十年記念の祝賀會およばれに、奥氏は非常に急いでゐられるので、一先づ今日は見ただけで、いづれ月曜日に、この家の使ひ方に就てもくろみをたてて集會する約束を殘し、厚く横山氏の親切を謝し、それぞれ私どもは、自分の歸るところへ歸つたのであつた。

* * *

さうだ、今日は月曜だつた。午後一時から本所の家に落ち合ふ約束になつてゐたのに、土曜日から日曜日にかけて、余り樂しい旅行だつたもので、東京のことなど、危く忘れるところだつた。一時頃迄には東京に着かねばならない！ 今、私達は九十九里ヶ濱に立つてゐる。――私だつて、今日は鈴木茂三郎氏をお訪ねしなければならない。今夜の講座の交渉だもの――と同じく大石さんも、やうやくこの朝婦人社の仕事を心配しだしたものだ。

九十九里ヶ濱の波音に、うつゝうつゝ寢せつけられ、目覺むれば波の音に早や夜が明けてゐた。Tさんの寢卷き姿に驚ろいた濱千鳥が、音もなくあちらへ飛び去る。又ゐる、又飛ぶ。私も寢卷き姿だつた。波が引いた後のこまかい砂が半乾きで、サラ〱サラ〱風に吹かれて、煙る樣に砂面を流れてゆくさまは、あたかも地上が高速度の廻轉でもしてゐるかの樣な感じである。大石さんのスカートが、花びらの樣に兩脚をはたはたたたいて風に靡いてゐる。――これは、その朝、食事前、私どもが濱に名殘りを惜しんだ散歩姿だつた。

波がどこまでもうねつて、果しない海の色が、あわい、旅愁に似たはかなさを想はせるのだつた。

ひとしきりガタ〱自動車に搖られて汽車に乘り込み、これでこの旅のお別れだ。いつの間にか千葉縣下を離れて早や兩國驛、――はて、直ぐ本所に行かうか、一時も過ぎたことだし、奥さんたちも來てゐられるだらう……どうしよう――、思案してゐる私の額へ大石さん――一緒に事務所に歸りませう――。そこで三人は圓タクに吸ひこまれる。――何から何まで、さんざTさまのお世話になつたこと――など考へながら小雨の中を走つて市ヶ谷へ向ふた。

歸つてみると、淺原健三氏から速達で、十二日午後三時に會つてもよいと云ふ返事。さあ大變だ。本所も氣になるがこちの方が私に

は大切の樣に思へた。歸つたまゝの足で飛んで淺原氏の宿に行つたものだ。

　人相のおつかない淺原代議士、よく云へば苦み走つたその顏、初對面ではあるが、七八年前、私には見た顏だ。その聲はざら／＼して咬みつく樣。だが、私には聽き憶へのある聲だ。――少し老いられたなあ――と私は思ひながら、遠慮しい／＼喋舌りかけた。私の生れた故鄕の地を繁く踏まれた氏。氏の生れられた家なども數へられて、はあ左樣でしたか、とお互になつかしめる九州つ兒同志のうれしさに、私は、何にも彼も忘れて、貪る樣に淺原氏のお話しを聽いてよろこんだ。

　――氣に入らなければ馬鹿ツと平氣で云ひのける淺原氏のお國訛澤山な話し振りに、故鄕を逐はれて數年、はじめて故鄕の男性を見つけたと、私はよろこんだ。子供の時分、大人の男性に持つあの恐怖とゝ信頼ともつかぬ懐しみを、淺原氏に感じたのであつた。

　――だいたい僕は、今の婦人運動と云ふものを見とめん――と一言だ。それ、これが私にうれしいのだ。少しばかりのことにでも、直ぐ騷ぎたがる都會人よりも、こんな野人的な人に、多く眞實性を見る私だつた。

　――僕は東京人はすかん――と云はれる。ぼた石の中から生れた運動家だもの、鬪士だもの、都會的な余りに都會的な東京人の肌合はお氣に召さぬだらう。

　こゝでも又少し名殘り惜しい氣になつて、それでも時間のあることだし　おいとまして、婦人消費組合講座に出席。おそくなつて奧氏もお見えになつた。――いたづら仕過ぎた仔犬の樣に、私は小さく恐縮してゐた。

　――持ちぼけさせました。淺原氏を訪れたものですから――。云ひわけでもする樣に云つた。私は、直ぐにでも本所の家の方の話しがききたくてならなかつたのだつた。

　――詳しいことは明日話しませう。あれを使ふにしても二階があのままでは使へないから、工事しなくてはなるまいと思ふ。工事費は千圓位入りはしないかと、實は今それが問題で……兎に角、一日も早く使ひ度いと思うてゐる――とこんな風に、簡單に話された。

　二階は、職業婦人方のホームにして、下は建築當時の希望通りな、託兒所も出來るわけだ。それに又婦人消費組合運動として實際的に手をつけたい。正に時機到來だ。このことに就いては、早くから思ひ立つてゐたことだし去年などは、ずい分熱心に其方面の勉强もしてゐたのだつたが……浮氣女の樣に、ひらり身をかわしたのだつた。自分で自分の力を持てあまし乍ら遂にその運びに至らなかつたのであつた。

　かう云ふ風な社會的な仕事をすら、巧利的に考へる人、そんな人とは一時も行動を共にするにはしのべない性格的な潔癖から、折角の方向を示されながら、ふいと投げ出してしまつたものだ。何でも支へられたものなら、うんと梢川してやれる私だ。示されたものにはかなり謙遜に自分を從はせる私なんだ。

　私はいろ／＼の意味でいろ／＼の勉强しながら、一ツの仕事の進行をはかるに、努力をおしまない。

×　×　×　×

×　×　×

新刊書便り

▲プロレタリア戀愛觀
（今野賢三著）

今日の戀愛混沌時代に、新しい戀愛道を指し示した本書の出版されたことは、よい時機を掴んだと云はねばならぬ。

知何に戀愛すべきか――

本書の著者は從來のやうに自然發生的な戀愛を否定して、戀愛に於ける目的意識の缺くべからざるものであることを說くのである。

曾つて、生活から全然遊離した象牙の塔の殿堂で、泣いて、笑つて、抱擁して、甘美なさゝやきの中に戀愛をみた人は間違つてゐる。尖端的、モダン的な戀愛！ 感覺的、刹那的なエロテイシズムの戀愛も時代的にはもう古い。プロレタリアは、その階級性に目ざめるとき、武器としての戀愛がそこに生れるのである。階級的立場から、涙と努力の同僚精神をもつて愛し合ひ、はげまし合ひ、共に鬪ふ者同志の戀愛。

そこには從來のやうな一夫一婦制の約束もないし、享樂や家庭生活の完成といつた美事な目的も地に墮ちてしまつてゐる。さうして同志愛としての戀愛に依つて、人々は盡きざる歡喜と鬪爭力を與へられるであろう、と云ふのである。悉しくは本書に就いて――

（發行所 牛込區市ケ谷田町三ノ二一 世界社 定價八十錢）

▲結婚の破産
（内山賢次郎譯）

近代結婚の廢類は、男をも女をもニヒリスにしてしまつた。そこには感覺的、享樂的な戀愛遊戲と、賣淫と墮胎と狂燥性革命患者がある。

然し、かくて結婚はつひに破産するのであらうか、といふに、著者カリプートンは決してさういふ結論を以て本書を閉ぢてはゐないのである。ソヴエート・ロシアの新道德は――と、該博な引例を以て當來社會の性生活と道德に就いて親切な助言を呈してゐるのをみる。現代の頽廢した世相について悉しい報導があると同時に、將來の道德はいかにあるべきかに答へる文學も相當豐富なのである。

（日本橋區吳服橋二丁目 春秋社發行 定價一圓二十錢）

▲さればロシアは敗れたり
（荒川實藏譯）

原著は日露戰爭當時ロシアの全權大使として、ポーツマス講和談判の衝に當り、外交家として名聲を博したエス・ユー・ウイツテの手に成つた當時の回想錄で、日露戰爭の發生原因とも云ふべきロシアの東方政策に筆を起して、その敗因の由來を詳細に記したもので、單にセンセーショナルな日露

戰爭の裏面史と云ふだけでなく、引いては帝政ロシアの崩壞過程、ブルジョア政治の暗黑面を知ると云ふ新しい觀點から見ても興味のある文獻である。

（發行所　東京本郷區駒込上富士前町百九番地　先進社　定價一圓二十錢）

▲資本主義の修正

（大田正孝著）

行詰つた資本主義經濟の打開策として、アメリカ、及獨逸の產業合理化運動を紹介し、我國に於けるその適用を提案したものである。プロレタリアートとしての立場から見れば、無論著者の自由主義的立場に依る新資本主義の提唱には多くの異論がある事と思はれるが、平明、懇切を極めた篤學な著者の筆は、現在に於けるネオ・キャピタリズムの發展段階を知る好個の讀物として、反對の立場に立つ人々にも、一讀の價値はあると思ふ。殊に附錄として加へられたラーテウナウの小史は「合理化」名付け親と云はれてゐる人だけに、或る意味に於て、時代の尖端を切つてゐるネオ・キャピタリズムの輪廓を知る好個の資料とも云へよう。

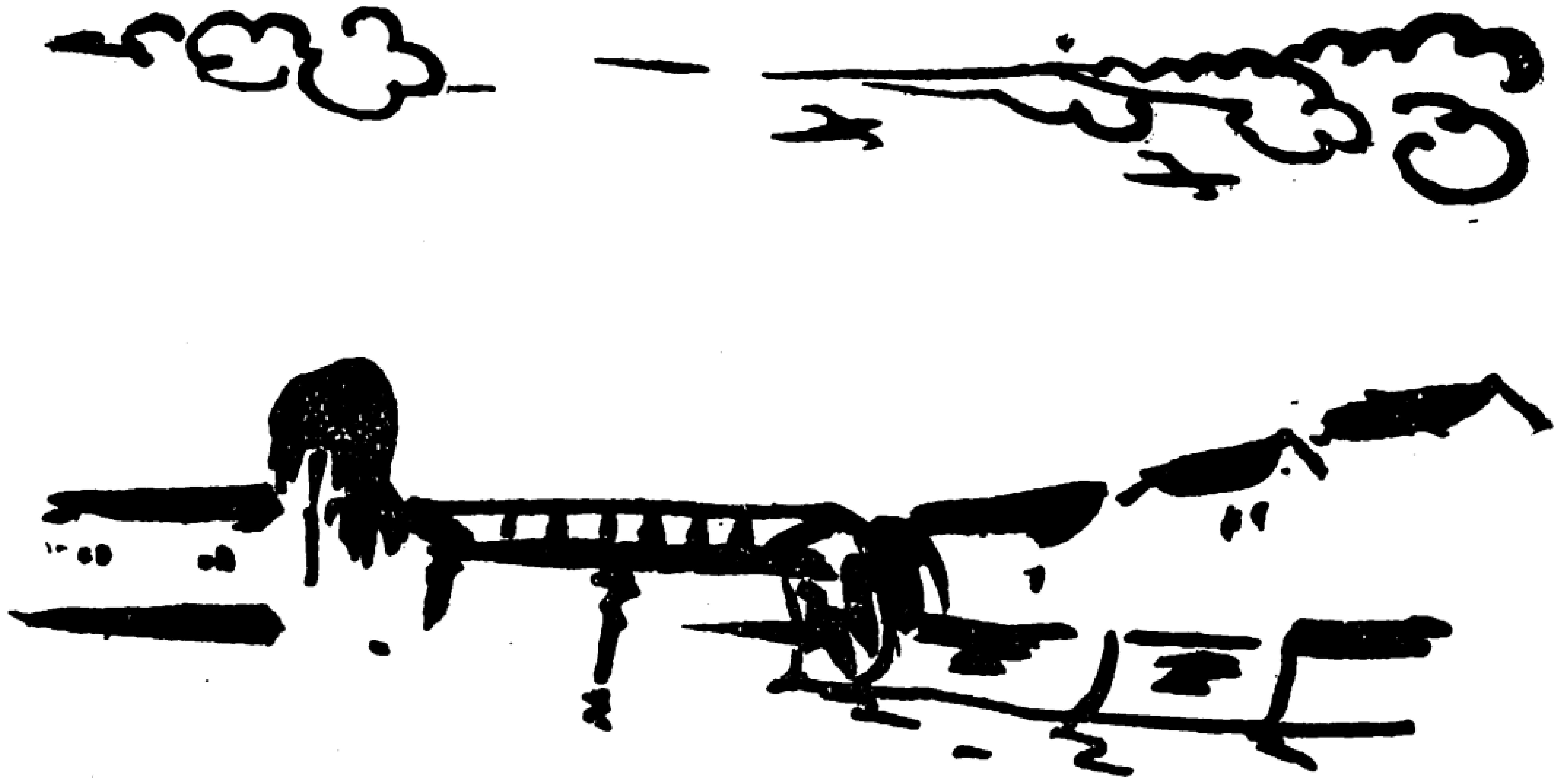
（發行所　東京本郷區駒込上富士前町百九番地　先進社　定價一圓二十錢）

▼貞操の洗濯場

（島洋之助著）

これは二十世紀の前半期に於て文化の尖鋭を競ふ歐米諸國の素顏である。文明と云ふ光りと色と香の白粉で彩る横の裏面である。と、その序文で著者は云つてゐる。歐洲戰後の爛熟せる世界人肉市場の記錄である。凡ゆる女性を娼婦的エロテシズムの色眼鏡で見ようとするその態度には同感出來ないが、現代文明の所謂暗黑面を語る資料として豊富な材料であらう。

（發賣所　東京市神田區三崎町二ノ一　赤爐閣書房　定價一圓六十錢）



空から落ちた青年

ジヤン・ヴエゼール
鳥井幸子譯

第一幕

（場所）

フオンタナツクと云ふフランス東南地方の美しい村。男爵の二令孃ローズとマリーは、溫室のやうに草花の咲き亂れた小さい部屋で、お茶の用意をしてゐる。室内は大きな窓のため明るく輝き、窓から美しい森の地平線、牧場、小川、そして遙かに空色の山々が見渡される。二人の友達ボーロとエレン偶然に訪れて來る。

（人物）

ローズ……男爵（醫學博士）の令孃（妹）
マリー……同（姉）
ボーロ……裁判官の令孃
エレン……公證人の姪

マリー（うれしさうに）まあ、丁度よい所にいらつしやいましたわ……皆さん、私たちと一緒にお茶を召し上つていらつしやいね。

ポーロ（さも驚いたやうにあたりを見廻しつゝ）一粒選りのお茶！ 上等のお茶碗、縫取されたナフキン、銀の茶瓶？ このお支度は皆一體何のためですの？ お客様？

ローズ まあ、それは後のお樂しみに致しませうよ！

エレン どれにしませう？ ブリユーム・ケーキそれとも淡雪のゴンフレツト、氷蜜柑？ チヨコレート？

マリー まあおいやね。お口のこと許り考へて……まあ

ポーロ このお茶に一體何を見せて下さるとおつしやるの？

ローズ 空から落ちた青年！

マリー はあ、ほんとよ。ローズのいふのは間違つてはをりませんわ。丁度午後の二時頃に、家のお庭の格子の前に落ちた若い青年ですよ。

エレン（合點が行かない）貴女方は一體何を私たちにお話しになるの？

ローズ だつて、ほんとですわ、確かにほんとですわ……パリからトルーズに向つた快活な飛行家の、愛嬌のある青年が今朝不意に、その操從者と一緒に家の牧場に落ちましたの。

ポーロ 何故私たちは知らなかつたのでせう？

マリー それはもう三時間にもなりますわ。それに貴女方は町のちがつた外れにお住ひなのですもの。

ローズ 發動機に故障がございましたとか、無理の着陸が餘り荒かつたもので、操縦者は肩を怪我し、青年飛行家は全く無事に草の上に飛び降りましたの。

エレン 貴女方はそこにいらして、その着陸を御覽になりましたの？

マリー はあ、私たち、家の屋根からたつた五六米離れた低い所に、叫び聲とモーターの唸りを聞きましたので、お父様はお醫者の道具をもつて飛び出され、私は妹と繃帶の箱をもつて追ひかけましたのよ。

ローズ それでお醫者のお父様の臨席も、私たち助手の出席も無益ではありませんでしたわ。怪我をした自分の友達を元氣づけやうと骨折つてゐた綺麗な青年は、私たちをまるで恩人の様に扱つてをりましたわ、可哀さうに、操縦者は大部惡いやうで、隨分血を流してお父様の腕に氣絶してをりましたの。

ポーロ　可愛さうに、救かる見込はございませんの？

マリー　それはきつとございますわ。何人かでフランスホテルへ運んで、あそこで厚い介抱を受けてゐることでせうよ。二三日の中には立てるやうになるでせう。怪我はひどくはございませんでしたから。

エレン　そしてその美青年は？　美青年はどうなりましたの？

ローズ　ジャック・ダングラル？……はあ、これがその青年の名前よ。その操縦者の傷が危くないと知つて、自分の飛行機を直しに行きましたの。私たちはその青年を、午後の五時にお茶に招きましたの。

マリー　その青年の父方の家族は、私たちの地方の生れでしたの。お父様はボルドーでアーサー・ダングラルと云ふ、優等で家庭のよい人と醫科を御研究なさいましたの。そのアーサー・ダングラルが、空から落ちた青年の正統の伯父に當りますの。

ポーロ　まあ、よく見つかりましたこと。

マリー　皆さん。この冒險家は私に空想を與へますのよ……貴女方、この冒險家に得も云はれない小説味をお感じになりませんこと？……私たちはこゝに、フォンタナツクに十人餘り、結婚すべき令孃としてあり、求婚者の現はれないのを煩悶してをり、夫を探すために大々的の活動をしてゐます。ところでフォンタナツクの眞中に、一人の青年が空から落ちました。美青年で度胸があり、愛情深く教育の完全な、優れた家庭の青年は、丁度稻妻の樣に私たちのところへ來るではありませんか。

ローズ　何故、私たち雷の音を聞かないのでせう！

マリー　ローズ……小説の最中に何を云ふのです。この小説は最後までよく終らなくてはなりません……

ローズ　その小説の全部は、結婚によつて終りますのね。

マリー　こんなに幸福な、又と得られない機會に、私たち四人の中の一人が氣に入られることに成功しない場合には、私たちはみんな輕蔑に價するものですわ。

ローズ　そして、若し三日間の中にジャック・ダングラルが、私たちのハートの一つも取らずに、又自分のをもフォンタナツクに殘さずに飛行機で歸つてしまつたら……

マリー　だけど、その時は私達の方が盜まれる方ですわ！

ポーロ　私たちの中、誰が氣に入られるのに成功するか？　皆さん、賭をなさらない？

マリー　お金持の一人娘、谷間のよい地所をみんな持つていらつしやる裁判官のお令嬢のポーロですわ。

ポーロ　ちつとも！　それは、お氣に入られるのはローズですわ。綺麗なローズ、フオンタナツクの美人の中での美人ですもの。

ローズ　いゝえ、才氣の溢れた、利發な、お世辭で騙すことのお上手なエレンですわ。

エレン　愛嬌たつぷりで、粋で花車なマリーですわ……

ポーロ　どつち道私たち四人の中の一人！　如何しても、私達四人の中の一人でなくてはなりませんわ！そして殘された三人は幸福な當選者をねたまないやうにして、おとなしく結婚式に新郎新婦に從ふ令孃達として滿足致しませうね。

ローズ　かしこまりましてよ！　私たち、あつさりした賭をしませう。そして、どんなことがあつても好いお友達同志を續けませうね。

マリー　（元氣を失ひ）あゝ、それは到底駄目でせうよ！　虫のよいことを考へるのは無駄ですわ。だつて、どうしてあの立派なパリの青年、あの大膽な運動家が、この哀れな小さい、時代後れの片田舍に魅惑を見出すことが出來るでせう。

エレン　（勢込んで異論を唱へる）まあ！　だけど私たち、ほんとにちつとも時代後れじやございませんわ。フランスの何處の小村に行つたたつて、私たちのやうに理解のある娘たちは居りませんわ。私たち女學校の寄宿舍を出て以來、擧動の自由や安全な獨立を勝ち得るため、隨分働きましたわ。この自由や獨立は、フオンタナツクの年寄の御婦人たちを憤慨させ、「理想的の娘」などゝ稱してゐる、田舍の時代後れの人達の膽を潰してやり、私たちの優れた親たちをびつくりさせるのですわ。

ローズ　私たちの意志に從はないのは、勿體ない程ですわ。

エレン　私たちフオンタナツクに居たつて、雜誌も、芝居も、モダーンな流り歌も、スポーツもダンスも、それに明日明後日の流行だつて知つてゐるし、骨董も安ピカも解つてゐるし、その上パリ流りの口癖や洒落までも知つてるではありませんか。私たちでこの空から落ちた青年を驚かしませうよ。きつとあの青年は、頭の鈍い、一度だつて村から出たことのない、生活とか廣い世界とかを知らない、あどけない娘たちの團欒にお茶を飲みに行くのだと思つてゐるに違ひ

ありませんわ……
ローズ　私たちだつて、パリの女性と同じやうに何でも知つてゐるし、愼重とか守舊思想を持たないつて云へるでせう。
エレン　私たちは私たちの時代でありたうございますわ。退屈な束縛を脱れて、自分勝手に活き、自分の好きなやうに自分の處理をしたうございますわ。
マリー（胸時計を見ながら）五時十分前。お湯がたぎつて來ましたわ。ローズ、お茶を取つて頂戴、ジャック・ダンガルがもう直ぐ來ますから。
ローズ（窓によりつゝ）あゝ、お見えになりましたわ。（エレンは鏡の前に走り、ハンドバックからコンパクトを出す。ポーロは洋服の皺を直し、身を反らしてちよつと皺のついたブラウスを引張る。マリーは束の間に頰に垂れた愛嬌毛を直す）

（幕）

第二幕

（場所）
前に同じ
（人物）
先の四人の令嬢
ジャック・ダンガル……若い飛行家
紹介、挨拶

ジャック　お孃さん方、皆さんのお茶のお招きに運動服で來ることをお許し下さい。
マリー　隨分お正しい方ね。私たち、飛行機には貴方のためにたんと服をのせることが出來ないのを、ちやんと存じてをりますわ。
ポーロ　貴方はほんとに「空から落ちた靑年」の人物をよく現していらつしていらつしやること。
ジャック（ほゝえみつゝ）それは確かです。空から落ちた靑年！　何とよい小說の材題でせう！
エレン　小說的小說でございますわ！　第一章、無知の小村への着陸。
ジャック　恍惚たる村！
エレン　第二章、娘たちのお茶の團欒
ジャック　實際お惠をたれて下さつて、僕を招待され、僕の操縱者まで御自分の御宅で介抱して下さつた優れた男爵も男爵夫人もお見えになりません。僕は、男爵と令夫人に敬意

を表したいのですが……

マリー　父母の所へは、お茶の後でお連れ致しませう。こゝへは親たちは通りませんの。この小さい部屋は私たちだけの住居、私たち娘共のホームで、半分勉强部屋、半分婦人室でございますの。唯若いものだけが、こゝに入ることを許されてをりますの。

ローズ　そして私たちは、この平和なお部屋で色んな笑ひ話を致しますのよ。

ジヤツク（少し冷たく）この小さい部屋は非常に陽氣で、明るく、愉快です。皆さんは、ほがらかな地平線を枠どつてゐるこの窓際で、澤山のレースや刺繡をされる筈です。

マリー（輕蔑を含んだふて口を以つて）レース、刺繡？……それ位なら、何故細かい針目の綴り織とはおつしやらないの？　貴方、田舍も目覺めましたわ。家事やお針の仕事は母たちや祖母たちの心を奪つたもので、私たちそんなもの見向きもしなくなつてから、もう隨分になりますわ。

ジヤツク　それでは、皆さんは、このフオンタナツクの平和な村で一體何をされるのです？

ポーロ　色んな事。自轉車、ボート、烈しいテニスなど。

エレン　マリーとローズは自動車の運轉手の免狀を持つてらして、御自分たちのお父樣の自動車を立派に操縱なさいますの。

ローズ　ポーロはとても、運動の研究が積んでいらつしやいますの。

エレン　私はラジオ學者ですの。

マリー（お茶を注ぎつゝ）私たち、出版される小說はみんな讀んでをりますわ。今日の娘は、何でも知つてなければなりませんわね？

ローズ　私たち、流行の流り歌を歌つてをりますの。デデだの、フイフイだの！

ポーロ　私たち、新しいダンスを習つてをりますの。そして、夢中になつてますわ。

ジヤツク（美しいローズの手から茶碗を受けつゝ）それで、その現代のダンスは、皆さん、何處で踊られるのです？　フオンタナツクの村には、そんなに澤山の舞踏會があるのですか？

マリー　フオンタナツクには舞踏會は少しもありませんけど、一寸前からダンス・ホールがありますの。

ジヤツク（容易に信じない）フオンタナツクにダンスホール？

エレン　はあ、氣の利いた地主はとても儲けてをりますわ。ジヤズバンドのダンス・ホールですの。

ジヤツク　そして、皆さんは、日曜日にそのダンス・ホールに行かれるのですか？

ローズ　日曜日には餘り人が込み合ひますの……だけど週の中に、上流社會の方々がそこで遊びますの。

ジヤツク（好奇心を以て）そこへは、皆さんの御兩親がお伴されるのですか？

エレン　まあどうして？　フオンタナツクでもパリのやうに、B・Iの戰ひを宣言致しましたわ。招待狀にはみんな、この村の未亡人たちを悲しませる、小さい文字が記されてをりますわ。B・Iは排斥でございますわ。

ジヤツク　B・Iとは一體何のことですか？

ローズ　まあ、B・I！　現代の男子、パリジアンの貴方がB・Iが何であるか御存知ないとは信じられませんわ。この名稱はパリの娛樂の交際社會で生れましたのよ……

ジヤツク　僕は一度も娛樂の交際社會へは出入したことがないのです。僕は、中央學校に入學するため、一生懸命に勉强したのです。それから學校を出て、飛行機のモーターの大商會に務める樣になつてから、機械を完全にすることと以外には何事にも從事しないのです。僕の今日の襲擊は、喜びの一部ではなかつたのです。僕は、充分に完全ではなくとも、希望に滿ちた新しいモーターを試みたのです。僕は時流を追ふものでも、スポーツマンでもないのです。あゝ何も知らない僕に、B・Iが何であるか說明して下さい。

エレン　B・IとはBagages Inutiles（不用な手荷物）取りも直さず兩親のことですわ。舞踏會や、遠足や、旅行などにはいつも親たちは邪魔じやありませんか？　私たち、そんな厄介なものは要りませんわ。Bagages Inutilesなしに！　これが卽ち規則語ですわ！　私たち、もう、Bagages Inutilesには我慢出來ませんわ。

ジヤツク　愉快々々！　僕は到底、それを一人では見つけられなかつたに違ひない……僕は又、令孃方の集ひに囁くこの神祕的な頭文字は、もつと潤ひのある、しをらしい意味をもつてゐると思つてゐたのです。

ポーロ　では何ですの、どうぞ？

ジヤツク（物思ひに沈む）B・I……B・I……何だらう？

Bel Idéal(美しき理想)…… Bonheur Introuvable(見出し得ない幸福)……

エレン　それは恐ろしく時代後れですわね！　そんなもの、古い戀愛詩だけにしか歌つてをりませんわ。貴方、貴方はBel Idéal をお信じになつて？

ジヤック　(簡單に)僕は一つ持つてゐます！

マリー　そして Bonheur Introuvable は？

ジヤック　僕は、確かに見つかるだらうと思ふのです！

一同　まあ！……

ジヤック　僕はそれを探してゐるのです……そして探すものは必ず見出すのです！

ローズ　(菓子を廻しつゝ)私、貴女がそのBonheur Introuvableを、フオンタナツクでお見つけになることをお望みしますわ。私たちの小さい村に結びつけられた飛行家、なんといふ夢でせう！　それで、私たちはみんなで貴方の御搜索をおねがひしませう。

マリー　貴方は三日の後でなればこゝをお發ちにならないでしよ、だから明朝は、私たちで貴女を私たちのテニスにお連れしませう。そこでは、快活な青年たちや、可愛い娘たちを御覧になりませうよ。

ポーロ　明日の晩は、伯父のクレマンの家でお煎餅の會がありますの。私、伯父に代つてダンガル様をお招きしますわ。みんなでダンスを致しませうね。

ジヤック　僕はそれ程の御好意に當惑してしまつて、御承諾してよいかどうか解りません。

ローズ　明後日は、ケルレザツクの洞穴にお辨當もちで遠足いたしませう。貴方は、毎夏とても澤山の漫遊客を引きつけるその洞穴見物をなさらずに、こゝをお發ちになることは出來ませんわ。

マリー　夕方、歸りにはダンス・ホールへ行つて、そこでその日を終へませう。

ジヤック　痛み入ります……悦ばしいです……

エレン　私たちへの御禮としては、私たちの中で一番大膽な者どもに、思ひがけない空中の洗禮を受ける機會を與へていたゞきませうね。

ローズ　あゝ、そうですわ……そうですわ。若し貴方の飛行機が直つたら……空から落ちた青年が、私たちを雲の頂上に攫つて行くのはよくないこと？

ウヰツク　お孃さん方、心よく承諾します。然し一つの條件の下に。Ｂ・Ｉが許されなければなりません。

ローズ　貴方はよくＢ・Ｉを問題になさるのね！　私たち、Ｂ・Ｉには許しなんか乞ひませんの、私たちはアメリカの自由と同じやうに、自由な娘たちであることを欲しますわ。私たち、海の彼方の姉妹たちから、獨立やスポーツの好みから、紅茶の味はいまで取りましたわ。

マリー　（茶瓶を取り上げつゝ）もう一杯いかゞ？

ウヰツク　有難う。僕はアメリカ人ではありません。

ローズ　では、何を差上げませう？……卷煙草？　私たち、香ひ入りの好いのを持つてをりますの。

ウヰツク　おゝ！　貴女方は煙草を喫はれるのですか？……

ポーロ　まあ、何て駄問でせう！　男子は喫はれるじやありませんか？　どうして、女子は喫つてはならないのです？　テニスやボート漕ぎかなんかの暑い遊びの後で、私たちがスポーツの連中とこゝへ休息に參ります時なんか、勇敢な青年たちは私たちがお相伴するのを見て、喜んでをりますわ。

ウヰツク（遺憾の氣味を以て）美しく花の咲き亂れた、こんなに明るい、可愛らしい令孃部屋も、時としては曇つた喫煙室になるのですね……

エレン（圖太く）私たち艶話しを致しますの！

（幕）

第三幕

（場所）

前に同じ

（人物）

先の四人の令孃

男爵夫人

ジヤツク

三日の後、先の四人の令孃が、同じ花の咲き亂れた部屋で、お別れのお茶の用意をしてゐる。男爵夫人出場。

マリー　すつかり用意が出來ましたわ、お母樣。ダンガル樣はもういらしつてもよろしいわ。私たち、ダンガル樣のおもてなしはお母樣にお任せしますわ。

ローズ　ダンガル樣もその方をお望みでせうよ……お母樣が、やはらかくダンガル樣の心の底の内々のお話しをお押しに

なれば、ダンガル様も、きつと自分の心をお打ち開けになりますわ。お母様、若しも幸福な當選者の名前、あの方が見出し得ない幸福を御自分に與へるに充分だとお決めになつた當選者の名前がお解りになつたら、私たちをお呼びになつて下さいましね。

ポーロ　それはきつとマリーですわ！　マリーはとても上手にダンスをするんですもの！　昨晩、ダンス・ホールでは、ジヤツクは殆どしつきりなしにマリーと踊つてましたわ。

マリー　私なんかちつぽけな體しか持つてをりませんわ、ポーロ、それにジヤツクは貴女が金滿家だつていふことを、ちやんと知つてますわ！　美しい體と大きな望み！　それが實行の青年には必要なのですわ。第一、この三日の間、ジヤツクは隨分貴女に熱中してをりましたわ。

ローズ　でも、エレン程熱中してはをりませんでしたわ！　エレンの會話、言葉と精神の溢れた、大膽で生々した血氣に滿ちた、その上輝いた奇論に富んだエレンの會話には、ジヤツクはひどく心を惹かされてたやうでしたわ。

エレン　ジヤツクは私を新しい女だと氣附いたので、私は心配ですわ。私なんかジヤツクの心を奪ふといふよりは、ジヤツクを呆れさせ、眉をひそめさせたのですわ。そりやあ、あの方を悅ばせたのはローズですわ。綺麗なローズですわ。

男爵夫人　皆さん、あちらへいらつしやいな！　貴女方は、私に仲々際どい役廻りをさせますのね。私は出來るだけやつて見ませうよ。貴女方の中、誰も一人の幸福を得る者を妬まないといふこと、解り切つてゐるでせうね。

エレン　（鼻の先で）私たち、當選者を胴上げしますわ！

ポーロ　（ぞんざいに）私、當選者にニースの花束を贈るわ。

（ポーロとエレンは腕を組んで側の戸から退場）

マリー　（彼女の母によりかゝりつゝ、小聲で）お母様、私は姉ですわ。私、ローズより急がなくてはなりませんわ。ジヤツク・ダンガルは、私にとつては、思ひがけないもう二度とは來ない配遇者でございます。あの方は美しいお名字と未來の地位を持つていらつしやいます。お母様、それを考へて下さいまし。お願ひでございます！（彼の女は出口の方へ向ふ）

ローズ　（彼の女の母に走り、床の上に膝まづき、甘へて頭を母の肩に埋め、低い聲で）お母様、若しもお母様が御存知だつたら……最初の瞬間から、この空から落ちた美青年は

とても私の氣に入つたのでございます。若しかすると、それは大打撃のせいかも知れません……だけど、やつぱりそうでございますわ！　外のどんな若い青年だつて、私にこんな印象を與へたことは一度もございません……若し當選者が私でなかつたとしたら、私、ほんとに不幸でございませう。お母様、不仕合せでございます！……私は、ジヤツクを戀してをります。

男爵夫人　可愛さうに！……お前は早く激してしまつたのです。三日前には、お前はあの青年を知らなかつたのに……

ローズ（速に立ち）しつ！　階段に足音が聞えますわ……あれはジヤツクです……私もう行きますわ！（彼の女は急いで側の戸から退場。ジヤツク・ダンガル奥の戸から登場。彼は男爵夫人の前で會釋をする）

男爵夫人　宅の娘共は、只今お友達と砂糖菓子を用意致してをりますので、もう直きに參ります。はあ、ほんとに、砂糖菓子を！……貴方は不思議だとおつしやるのですか？　このお別れのお茶に、貴方を甘やかしてはいけませんの？

ジヤツク　僕の驚いてゐるのは、このお孃さん方が砂糖菓子を造るのを御存知なことなのです。僕は、お孃さん方は、昔の婦人に親しまれた料理や、お菓子などの、有らゆる家庭技藝とは不和を生じていらつしやることゝ思つてゐたのです。

男爵夫人　いゝえ〳〵どうして〳〵！　宅の娘共は、氣の向きました時には、二人とも上手な世帶持でございますよ。お友達どもの方はそんなでもございません。お友達の一人は金持で、我儘で、おひい様育ちでございまして、も一人は新しい女でございます……然し、マリーとローズとは、二人がメリケン粉に手をつゝ込んでゐる時に見ていたゞきますわ。

ジヤツク　一體何時メリケン粉に手を出すのですか？……それは、きつと毎日のことではありますまい？　お孃さん方は、スポーツや、ダンスや、煙草や、流り歌や、現代小説などの方がお好きなのです。たとひそれが極く淺薄であらうとも。

男爵夫人　まあ、貴方、可愛い娘たちを誹謗なさらないで下さい。時代に從つて進んで行く樣子をしなくてはなりませんわ。實際宅の娘たちは、やれ擧動の獨立とか、やれ言葉の自由とか申しますもの、一度結婚したが最後、一途に家

事と夫に従事する、秀でた娘たちでございますよ。貴方、田舎の娘の大きな怖れは、後れた娘でございますよ。

ジヤック　それで、お嬢さん方は、あんなに投げ遣りな娘になることを好まれるのですね。

男爵夫人　それが青春でございますわ！　そんなこと、大目に見られますわ！　娘たちだつて夫を持つたなら……

ジヤック　夫もやつぱり、両親のやうに、B・I……Bagages Inutiles の組に入れられるのでせう。それに夫なんか、父や母よりひどいことでせうよ……

男爵夫人（折合つて）あゝ、その言葉が貴方のお氣に障りましたか？　宅の娘たちは、そんな言葉ちつとも大切がつてゐないこと御存知ですの？　マリーとローズは、年頃の娘の中でも一番愛情があつて、一番鄭重でございますよ……そんなこと、娘たちの様子振る流行とでも云ふものですわ。

ジヤック　それは極く賤しい流行です！

男爵夫人　B・Iとりも直さずBagages Inutiles なんて、宅の娘たちは、こんなもの滑稽で、あき〳〵してゐるとか申して居りますのですよ！

ジヤック（別に）そして、こんな滑稽事の笑ひづくで、厄介な不用の手荷物を岸から棄てるに違ひないのです……

男爵夫人　宅の娘たちは、年が行かず、快活でございますわ。

ジヤック　お嬢さん方は誠にお可愛らしいです。お嬢さんや奥様のおかげで、僕のフオンタナツクに於ける止むを得ない逗留も、最も樂しい休暇ともなつたのです。僕は何とお禮を申上げてよいか解らないのです。

男爵夫人　宅の娘のマリー……

ジヤック　無雙の快活さ、花やかさ活氣と熱とを持つてをられます。

男爵夫人　そして、小さい娘のローズ……

ジヤック　最も優しい、最も美しい薔薇の花……お宅のお嬢さん方は、パリをちつとも御存知ないのを嘆いていらつしやいます。男爵は、この冬は奥様と御一緒に、宅へお嬢さんをお連れになると僕に約束されました。僕たちのアパートメントは可成り廣いし、年とつた母は、皆様をおもてなしするのを、どんなに悦ぶ事でせう。

男爵夫人　私ども、貴方の御母上にお目にかゝるのを、どんなに悦んでゐるか解りません。然し、それでは侵入同様でございますわ。

ジャック　そのことでは、母には僅かの心配もありません。母には、一家の主婦の仕事を補ふために、母の最も親しいお友達の娘、僕の許嫁、マリー・ド・ヴィルヴアルが手助けに來ませうから。

男爵夫人（呆氣に取られ）貴方はもう、許嫁けをなさつたのですか！

ジャック（微笑しつゝ）それは、五六日の中に公になることです。

男爵夫人（自分で何を云つてゐるかも解らず）そのお孃さんといふのはどんな方ですの？

ジャック　奥様のお孃様のマリーほど華かではなく、ローズほど美しくなく、エレンのやうに利發ではなく、ポールのやうにお金持ではないのです……僕とマリー・ド・ヴィルヴアルは、幼い時から知り合ひだつたのです。僕たちは永年同じアパートに住んでをります。マリーは自分のお母さんと一緒に五階に、僕は僕の母と一緒に二階に住つてゐます。マリーは眞面目に、宗教的の教育を受けたパリジャンヌの申分のない趣味と、愼み深い、上品な辭禮の持主なのです。そして溫和、氣品、慈愛の人物であり、その魅力はゆつくりと靜かにとはいへ、確かに利くのです。そればかりでなく、天晴に、自分の身を獻げて、病身の自分のお母さんを介抱し、幼い弟を教育させ、學問を聽かせ、精神、思想を固めさせたのです。……奥様、若し御親切な奥様がマリーを御覽になつたら、きつとお好きになることでせう。

男爵夫人（表面のみの笑みと不自然な慇懃を以て）まあ！幸福なお便り！私、娘たちのところへ急いで行つて、貴方にお祝ひ申上げる樣に申して參りますわ……（急いで去る）

ジャック（一人で）さうだ、五六日の中には、マリー・ド・ヴィルヴアルは僕の許嫁になるのだ。僕の年老いたお母さんは幾度か僕に、力を入れて繰返して言つて下すつたことだらう。「ジャックよ、お前を幸福にするには、マリーより優れた女はゐないのだよ……それにマリーは、ずつと前から、心から密かにお前を戀してゐるのだよ。でお前は唯一言云へばいゝのだよ……母さんは確かですよ……」と。幸多き飛行機の墜落！マリーは一輪の菫の花だ。その香りだけが花を見つけさしたのだ。若しも僕が、途であの放縱な四人の田舍娘、その厚かましさが僕に或る現代女性の精神狀態を悟らしてくれた、あの四人の娘に遭はなかつたとしたら

僕はマリー・ド・ヴイルヴアルの立派な品位と、精神と愛情との稀な美點のほんとの價値を尊重しただらうか?……これが卽ち、介抱すべき病める母、敎育させるべき幼い弟を持ちながらも、不用の手荷物を厄介ものだとは考へない女性なのだ。彼の女は、僕の愛するお母さんにとつては、注意深い、恭順な娘となり、僕の未來の子供たちにとつては自己を忘れてまで忠實な、慈愛の籠つた母となるだらう。ジヤック・ダンガルよ、空から落ちた青年よ、お前の操縱者はなほつたのだ。お前の飛行機の用意は出來たのだ。一飛びに幸福な空に上れ。お前は眞のB・I、Bonheur Introuvable(見出し得ない幸福)を見出したのだ。

（幕）

× × × × ×

編輯後記

編輯の方のお手傳ひを前月號からさせていたゞくとになりました。經驗のない者ながら、年來の理想を出來れば少しでも實現してみたいものだと、最初は非常な勢ひでとりかゝつたものです。然し仕事に馴れないのと、東京の地理を知らぬためと、自分自身の雜用のためとで、計畫通りに仕事ははかどりませんでした。

是非いたゞきたいと思つてゐた原稿も、先生方の御多忙の故に、或は斷念し、或は來月まで待つことを餘儀なくされました。然しとかくも、かうして皆樣にお渡しすることの出來るのは、如何にもうれしいとでございます。來月號は一層々努力と注意を拂つて、内容の充實をはかり、發行日もも少し早くして皆樣の御期待に添ひたいと存じます。どうぞ皆樣も御一人びとりが「これは自分の雜誌だ」と思し召して、私共の仕事を助け、「婦人運動」をより立派なものにして下さいますやうに。毎月どうぞ出來るだけ具體的な御批評をお聞かせ下さいませ。記事についての御希望がおありでしたら、それも御遠慮なく御申し越し下さいませ。私共の出來る範圍で、是非とも皆樣の御希望に添ひ、共に讀み、共に考へ、共に語り合ひたいと思ひます。どうぞそのおつもりで「婦人運動」を一緒にそだてゝ行つて下さいませ。（大石）

今月も雜誌がおくれさうで、今さらの樣にいら〳〵してゐる處です。まわりで、若い人がやい〳〵せき立てても、鈍重な私の性格では、おいそれと彈まないものだから、みてゐるものも氣が氣ぢやないとH氏は云ふのです。その實、私自身も氣が氣ぢやない心でゐるのです。まあ、愚痴を云はないでせつせと仕事を進めることですね。

事務所を學校と圖書館のつもりでみんなで勉强しませう。とは、いつも云ひ合つてゐることです。追々と新刊の書籍が發行所から送られて來るし、新聞や雜誌も相當に多く集るし、みなさんもどうぞ、お遊びがてら本を讀みに來て下さいまし。どんどん新刊のものを讀みならうて、古く固定しさうな頭に風を入れようではありませんか。

私の在社日は毎週水、土曜日の午後。あとは毎日ちよいと來ますがすぐ用達しに出ます。

怖いおぢさんから、發行人の名前を奥梅尾と戸籍の通りに書き直せといふてお目玉を頂いたので書改めて如件。私の父も、自分でつけた癖に梅尾といふ字が嫌ひだといふて、むめおと捻ねらせてゐたので、私の心の中では、本名がこつちだけれど、どうも警察といふものは融通がきかぬものだ。（奥）

讀者をふやして下さい

廣告力をもたないうちの雜誌のやうなものは、内容がどんなによくても、今の資本家主義社會では店頭の商品にならない。

だから讀者から讀者へ！

みなさんのお助力に依つて直接にすゝめて下さつて、讀者として協力者をふやすより外ないのです。

新しい仲間よ、殖えよ！

讀者をふやして下さい

昭和五年五月廿一日納本
昭和五年六月一日發行

◇誌代はすべて前納にして下さい

誌代
壹部 貳拾錢（郵税一錢）
半年分 壹圓二十錢
壹年分 貳圓二十錢

編輯發行兼印刷人 奥 梅尾

東京市牛込區本村町四
職業婦人社

優しき慈母のたしなみ……

◆妊娠中にも、生兒哺育の時期に於きましても、母體の細胞を最も健全な狀態に保つて置くことは、母として缺くべからざる義務であります、此の務を怠りますれば　母子共病弱の結果を招くと云ふことは各醫學大家の唱へられてゐるところであります。

◆斯る時期に於いて、ホースフォードの服用は最も有効の一つであると存じます。本品中には人類生存上一日として缺くべからざる燐酸カルチウム、マグネシユウム、ポツタシウム、ソヂウム及鐵等の化學的操作を以て巧に無色の水溶液となし、味ひは極めて爽快であります、また日常の生活上必要な一般穀類及食物にある燐酸鹽の凡てを含有し、吸收同化し易いために恢復期の無二の後援者として諸先生より推奬された優秀品であります、

◆産後疲れてゐる細胞の恢復時はホースフォードの爲めに非常に早められるのみならず、より以上の健康體を保持し、授乳による疲勞と衰弱は全く防止せられ心安んじて天惠の母乳を完全に授けるこそ母性愛の發露であると思ひます。

毎食後半茶匙コップに半分の水或は湯茶等でうすめ服用す尚砂糖を以て甘味を附すれば恰も清涼飲料を飲用するが如く爽快なり。

――【説明書鈔呈】――



北米合衆國

製造元　ラムフォード化學研究所

東京日本橋區本町三丁目

輸入元　島原吉兵衞商店

八オンス入(約一ヶ月分)三圓

(各地著名藥店にあり)

大正十三年十一月二十二日第三種郵便物認可
昭和五年五月三十一日印刷納本
昭和五年六月一日發行（毎月一回・一日發行）

婦人運動

第八卷第五號

定價廿錢



復刻版 婦人運動 第[illegible]回配本（第[illegible]巻～第15巻）

1990年12月25日 発行

本体揃価格 50,000円

発行者 船橋 治

発行所 不二出版（株）

東京都文京区向丘1-2-[illegible]

〒113 ☎03（8[illegible]）[illegible]

印刷所 三進社

製本所 吉田製本工房

中性紙使用